

文書番号	標題	年代	形態	数量	内容	備考
1. 田畑当作米取立帳						
1-1	文政十一年戊子秋 田畑預米取立帳 中島氏	文政11年秋	美・横半折	1冊		
1-2	文政十二年丑年八月 田畑預米取立帳 中島氏	文政12年8月	美・横半折	1冊		虫喰あり
1-3	文政十三年寅年八月 十二月ヨリ天保二代ル 田畑預米取立帳 中島氏	文政13年8月	美・横半折	1冊		虫喰あり
1-4	天保二卯年八月 田畑預米取立帳 中島氏	天保2年8月	美・横半折	1冊		虫喰あり 紙縫りで結んである
1-5	天保三辰年八月 田畑預米取立帳 中島口(氏カ)	天保3年8月	美・横半折	1冊		虫喰あり 紙縫りで結んである 表紙の劣化が激しいためSILティッシュで包む(裏表紙)「中島氏」
1-6	天保四巳年八月 田畑預米取立帳 中島氏	天保4年8月	美・横半折	1冊		虫喰あり 紙縫りで結んである(裏表紙)「中島氏」
1-7	天保五年午年八月 田畑預米取立帳 中島氏	天保5年8月	美・横半折	1冊		虫喰あり 開披要注意
1-8	天保六年乙未八月 田畑当作米取立帳 中島氏	天保6年8月	美・横半折	1冊		虫喰あり 綴紐外れのためSILティッシュで包む
1-9	天保七年丙申八月 田畑当作米取立帳 中島氏	天保7年8月	美・横半折	1冊		虫喰あり
1-10	天保八年丁酉年八月 田畑当作米取立帳 中島氏	天保8年8月	美・横半折	1冊		
1-11	天保九戌戌年八月 田畑当作米取立帳 中島氏	天保9年8月	美・横半折	1冊		
1-12	天保十己亥年八月 田畑当作米取立帳 中島氏	天保10年8月	美・横半折	1冊		
1-13	天保十一庚子年八月 田畑当作米取立帳 中島氏	天保11年8月	美・横半折	1冊		
1-14	天保十二辛丑年八月 田畑当作米取立帳 中島氏	天保12年8月	美・横半折	1冊		
1-15	天保十三壬寅年八月 田畑当作米取立帳 中島氏	天保13年8月	美・横半折	1冊		
1-16	天保十四癸卯年八月 田畑当作米取立帳 中島氏	天保14年8月	美・横半折	1冊		
1-17	天保十五甲辰年八月 田畑当作米取立帳 中島氏	天保15年8月	美・横半折	1冊		「辰年未進人書出」が添付されている
1-18	弘化二乙巳年八月 田畑当作米取立帳 中島氏	弘化2年8月	美・横半折	1冊		
1-19	弘化三丙午年八月 田畑当作米取立帳 中島氏	弘化3年8月	美・横半折	1冊		裏表紙欠 表紙が傷んでいるためSILティッシュで包む
1-20	弘化四丁未年八月 田畑当作米取立帳 中島氏	弘化4年8月	美・横半折	1冊		
1-21	嘉永元戊申年八月 田畑当作米取立帳 中島氏	嘉永元年8月	美・横半折	1冊		表紙やや劣化
1-22	嘉永三庚戌歳八月 田畑当作米取立帳 中島氏	嘉永3年8月	美・横半折	1冊		
1-23	嘉永四辛亥年八月 田畑当作米取立帳 中島氏	嘉永4年8月	美・横半折	1冊		
1-24	嘉永五壬子年八月 田畑当作米取立帳 中島氏	嘉永5年8月	美・横半折	1冊		
1-25	嘉永六癸丑年八月 田畑当作米取立帳 中島氏	嘉永6年8月	美・横半折	1冊		
1-26	嘉永七甲寅年八月 田畑当作米取立帳 中島氏	嘉永7年8月	美・横半折	1冊		
1-27	安政三丙辰年八月 田畑当作米取立帳 中島氏	安政3年8月	美・横半折	1冊		
1-28	安政四丁巳年八月 田畑当作米取立帳 中島氏	安政4年8月	美・横半折	1冊		
1-29	安政六年己未八月 田畑当作米取立帳	安政6年8月	美・横半折	1冊		(裏表紙)「中島氏」
1-30	文久元年辛酉八月 田畑当作米取立帳	文久元年8月	美・横半折	1冊		(裏表紙)「中島氏」
1-31	文久三年癸亥八月 田畑当作米取立帳	文久3年8月	美・横半折	1冊		(裏表紙)「中島氏」
1-32	慶応元年乙丑八月 田畑当作米取立帳	慶応元年8月	美・横半折	1冊		(裏表紙)「中島」「覚」(清十郎→塩田屋、年欠七月五日)が挟まれている
1-33	慶応二年丙寅八月 田畑当作米取立帳	慶応2年8月	美・横半折	1冊		(裏表紙)「中島」
1-34	慶應四年戊辰八月 田畑当作米取立帳 中島	慶応4年8月	美・横半折	1冊		
1-35	明治二年己巳歳八月 田畑当作米取[ ](立帳カ) 元	明治2年8月	美・横半折	1冊		表紙の表面が擦れている
1-36	明治三年庚午歳八月 田畑当作米取[ ](立帳カ) 中	明治3年8月	美・横半折	1冊		表紙の表面が擦れている
1-37	明治四年辛未歳八月 田畑当作米取立口(帳カ) 中島	明治4年8月	美・横半折	1冊		表紙の表面が擦れている
1-38	明治五年壬申歳八月 田畑当作米取立帳 中島氏	明治5年8月	美・横半折	1冊		「覚」3通(宛名・差出未詳、巳正月廿六日)(宛名・差出未詳、午正月)(宛名・差出未詳、巳三月)が挟まれて
1-39	明治六年九月 田畑当作米麦取立帳 中島源太郎	明治6年9月	美・横半折	1冊		
1-40	明治七年甲戌十月 田畑当作米麦取立帳 中島源太郎	明治7年10月	美・横半折	1冊		
1-41	明治九年丙子十月 田畑当作米麦取立帳 中島源太郎	明治9年10月	美・横半折	1冊		
1-42	明治十年丁丑十月 田畑当作米麦取立帳 中島源太郎	明治10年10月	美・横半折	1冊		
1-43	明治十二年己卯歳十月 田畑当作米麦取立帳 中[ ](島源太郎カ)	明治12年10月	美・横半折	1冊		表紙の一部欠損
1-44	明治十三年庚辰歳十月 田畑当作米麦取立帳 中島源	明治13年10月	美・横半折	1冊		
1-45	明治十四年辛巳歳十月 田畑当作米麦取立帳 中島源	明治14年10月	美・横半折	1冊		
1-46	明治十五年壬午歳十月 田畑当作米麦取立帳 中島源	明治15年10月	美・横半折	1冊		虫喰あり
1-47	辛卯十二月 未進書出帳 塩田屋	(天保2カ)年12月	美・横列	1冊		虫喰あり 1-41に添付されていたものカ
1-48	文政九丙戌年八月 吉祥日 田畑預米取立帳	文政9年8月 吉祥日	美・横長	1冊		「覚」(三郎兵衛→九一郎、丑六月十四日)が挟んである(裏表紙)「中島氏」
1-49	文政十丁亥年八月 吉祥日 田畑預米取立帳	文政10年8月 吉祥日	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島氏」
1-50	文政十一年子八月 田畑預米取立帳 塩屋四軒分	文政11年8月	美・横列	1冊		
1-51	午臘月 預毛米未進書出帳 中島氏	午年12月	美・横長	1冊		

1-52	乍恐以書付御歎奉申上候	年月日未詳	美・横長	1冊	粒江村へ沖新田用水取続の件	
1-53	黒石水道筋粒江村用水道溝成永荒帳	年月日未詳	美・横長	1冊		
1-54	明和九年辰十二月 田畑畝高物成書出地利米仕出帳 天城村善次郎抱之分	明和9年12月	美・横長	1冊		
1-55	安永九子夏改 自分名寄帳 中島善治郎	安永9年夏	美・横長	1冊		虫喰あり 開披注意
1-56	預米取立寄帳 御屋敷株御諸懸り分 塩屋幸内共	年月日未詳	半・横長	1冊		
1-57	寅秋 四軒分昇幸田共毛見書抜帳	寅年秋	半・横長	1冊		
1-58	天保三辰年十二月 預米未進書出し帳 中島氏	天保3年12月	美・横半折	1冊		虫喰あり 綴り紐外れ SILティッシュで包む
1-59	明治二十三年度分並二十四年度麦取立合冊 小作米庭取勘定 中島	明治23~24年	半・横半折	1冊		
2. 手元帳						
2-1	文政二己卯年正月吉日 手元扣	文政2年1月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「凌風軒」表紙やや傷み
2-2	天保口(二カ)辛卯年正月吉祥日 手元帳	(天保2カ)年1月吉祥日	美・横列	1冊		(裏表紙)「中島氏」帳の綴り外れ・虫損・表紙劣化のためSILティッシュで包む
2-3	天保三壬辰年正月吉祥日 手元帳	天保3年1月吉祥日	美・横列	1冊		(裏表紙)「中島氏」帳の綴り外れ・虫損・表紙劣化のためSILティッシュで包む
2-4	天保[ ](四癸カ)巳年正月吉祥日 手元帳	(天保4カ)年1月吉祥日	美・横列	1冊		(裏表紙)「中島氏」帳の綴り外れ・虫損・表紙劣化のためSILティッシュで包む
2-5	天保五甲午年正月吉祥日 手元帳	天保5年1月吉祥日	美・横列	1冊		帳の後ろ欠カ 紙紐で結んである 虫喰あり
2-6	天保六乙未年正月吉祥日 手元帳	天保6年1月吉祥日	美・横列	1冊		(裏表紙)「中島氏」虫喰あり 帳の綴り外れのためSILティッシュで包む
2-7	天保七丙申年正月吉祥日 手元帳	天保7年1月吉祥日	美・横列	1冊		(裏表紙)「中島氏」「覚」(用向→塩田屋、酉七月廿八日)が挟まれている 表紙擦れ 虫喰あり
2-8	天保八丁酉年正月吉日 手元帳	天保8年1月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「中島氏」虫喰あり
2-9	天保九戊戌年正月吉祥日 手元帳	天保9年1月吉祥日	美・横列	1冊		(裏表紙)「中島氏」虫喰あり
2-10	天保十二辛丑年正月吉祥日 手元帳	天保12年1月吉祥日	美・横列	1冊		(裏表紙)「中島氏」表紙擦れ 虫喰あり 帳が外れかけているためSILティッシュで包む
2-11	弘化二[ ](乙カ)巳年正月吉日 手元帳 是ヨリ四年丁未口(粟カ)海録[ ]	弘化2年1月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「中島氏」表紙の擦れが目立つためSILティッシュで包む
2-12	嘉永三庚戌年冬十月吉良 手元帳 嘉永五壬子年手元帳江続ク	嘉永3年10月吉良日	美・横列	1冊		(裏表紙)「中島氏」
2-13	嘉永五壬子年正月吉良 手元帳	嘉永5年1月吉良日	美・横列	1冊		(裏表紙)「中島氏」
2-14	辛万延二年酉正月吉辰 手元帳 口慶応二年丙寅十二月晦日終	万延2年1月吉辰日	美・横列	1冊		(裏表紙)「中島氏」
2-15	[手元帳]	年月日未詳	美・横列	1冊		(裏表紙)「中島氏」表紙劣化のため判読不能 SILティッシュで包む
2-16	[手元帳]	年月日未詳	美・横列	1冊		(裏表紙)「中島氏」表紙欠失 虫喰あり 紙紐で結んである 劣化が激しいためSILティッシュで包む
2-17	[手元帳]	(明治期)	美・横列	1冊		(裏表紙)「中島氏」虫喰あり 表紙劣化のためSILティッシュで包む
2-18	文政十一 十二両年 子八月朔日より丑七月晦日迄 世常其外内勘定帳 他見無用	文政11年8月1日~12年7月30日	半・横長	1冊		
2-19	文政十二丑年八月〇〇 手元内勘帳 中島氏 他見不免	文政12年8月	半・横長	1冊		
2-20	巳とし 勘定覚帳 しほたや	巳年	半・横半折	1冊		綴り紐外れ SILティッシュで包む
3. 交通						
3-1	文政七申年十月 中島九一郎扣 公儀御役人様御休泊并御賄御通行人足御入用共書上帳 兎島郡天城村	文政7年10月	美・横長	1冊		
3-2	文政九年戊 公儀御役人様方御通行継走人足并御休所仕構入用共書上帳 兎島郡天城村	文政9年	美・横長	1冊		
3-3	文政十年亥十二月 中村継次郎様御止宿御賄御入用一切御上立之分書上帳三冊 大坂御役人様并倉敷大竹太郎左衛門様御手代中御休所御入用御上立分書上帳一冊 天城村名主九一郎扣	文政10年12月		1括り(3冊)		3-3-1~3紙縫り一括り 紙縫りが切れているためSILティッシュで包む
3-3-1	文政十亥年十二月 公儀御役人様御止宿御賄御入用御上立被為仰付分書上帳 兎島郡天城村	文政10年12月	美・横長	1冊		
3-3-2	文政十亥年十二月 公儀御役人様御通行之節諸人足御上立被為仰付分書上帳 兎島郡天城村	文政10年12月	美・横長	1冊		
3-3-3	文政十亥年十二月 公儀御役人様方御通行之節御休所御仕構御上立被為仰付候分書上帳	文政10年12月	美・横長	1冊		
3-4	[公儀・京都役人通行休泊等入用書上帳]	天保8年11月~9年11月		1括り(2冊)		3-4-1~2紙縫り一括り

3-4-1	天保八年酉十一月 公儀御役人様方御通行継立人足書上帳 児島郡下津井村控写	天保8年11月~9年11月	美・横長	1冊		
3-4-2	天保八年酉十一月 京家御役人様公儀御役人様御通行御休泊御賄入用書上帳 児島郡下津井村控写	天保8年11月	美・横長	1冊		
3-5	[公儀役人其外御通行御休泊等入用書上帳]	天保8年11月~12月	美・横長	1括り(3冊)		3-5-1~3紙綴り一括り 虫喰あり 表紙が外れているためSILティッシュで包む
3-5-1	天保八年酉十一月 公儀御役人様其外御役人御用御通行継立人足賃米御休泊諸入用共書上帳 児島郡天城村控	天保8年11月	美・横長	1冊		虫喰あり
3-5-2	天保八年酉十二月 公儀御役人中様為御用御通行御泊御賄之節諸夫役賃米御上立被為仰付候分書上帳 児島郡天城村控	天保8年12月	美・横長	1冊		虫喰あり
3-5-3	天保八年酉十二月 公儀御役人様其外小役人御用御通行之節御休泊御賄御入用御上立被為仰付候分書上帳 児島郡天城村控	天保8年12月	美・横長	1冊		虫喰あり
3-6	天保十亥年十一月 公儀御役人様并小役人其外御用御通行継立人足賃米御休泊諸御入用共書上帳 児島郡天城村控	天保10年11月	美・横長	1冊		
3-7	天保十一子年十一月 公儀御役人様并小役人其外御用御通行継立人足賃米御休泊諸御入用共書上帳 児島郡天城村控	天保11年11月	美・横長	1冊		
3-8	天保十一子年十二月 公儀御役人中様方御屋賄御入用御上立被為仰付候分書上帳 児島郡天城村控	天保11年12月	美・横長	1冊		
3-9	天保十三寅年十月 公儀御役人様并小役人其外御用御通行継立人足賃米御休泊諸御入用共書上帳 児島郡天城村控	天保13年10月	美・横長	1冊		
3-10	天保十四卯年十一月 公儀御役人様并小役人其外御用御通行継立人足賃米御休泊諸御入用共書上帳 児島郡天城村控	天保14年11月	美・横長	1冊		虫喰あり
3-11	天保十五辰[ ] 公儀御役人様并小役人其外御用[ ] 継立人足賃米御休泊諸御入用共書上帳	天保15年	美・横長	1冊	將軍家より下賜の鶴及び奉書(牧野備前守→松平[山内]土佐守)継送の記事が見える	表紙の一部欠損のためSILティッシュで包む
3-12	天保十五辰年十一月 日野西御殿御姫君様御通行御休之節御入用書上帳 児島郡天城村名主九一郎 同藤戸村名主祐太郎控	天保15年11月	美・横長	1冊	京都の公家日野西家の姫君が土佐国大内へ湯治に行くため通行した際の記録	
3-13	弘化二巳年十一月 公儀御役人様并小役人其外御用御通行継立人足賃米御休泊諸御入用書上帳 児島郡天城村控	弘化2年11月	美・横長	1冊	禁裏御所繪旨御用の通行あり	虫喰あり
3-14	天保九戌年正月 御巡見御用留帳 天城村名主九一郎	天保9年1月	半・豎	1冊		虫損が激しいためSILティッシュで包む 開披注意
3-15	天保五辰年十月 草案	天保5年10月	美・横長	1冊	公儀役人その他通行時の人足・飛脚等書上	
3-16	天保十三寅年五月 勸化送人足取下不申候為一条留	天保13年5月	美・横長	1冊		
4. 治安						
4-1	天保十三寅年九月 児島郡天城村町分源右衛門梓長介本名源吉於岡山町方酒狂及狼藉直二御連越御長屋入相成候二付源吉地向之様子書付差出候様被仰付一件書上写 九一郎控	天保13年9月	美・横長	1冊		
4-2	安政七年申正月 天城村町分次兵衛内別弥吉後家方二而備後深津郡市村要平娘いわ并当所平蔵悻磯吉両人を備中倉敷村帳外佐和蔵庖丁二而疵付候始末御注進書付類共写 安兵衛扣	安政7年1月	美・横長	1冊		
4-3	安政七年申正月 天城村町分次兵衛内別弥吉後家方二而備後深津郡市村要平娘いわ并当所平蔵悻磯吉両人ヲ備中倉敷村帳外佐和蔵庖丁二而疵付候始末御注進書付	安政7年1月	美・横長	1冊		
4-4	巳十一月 巳 児島郡天城村平蔵兄庄吉同郡藤戸村坂次郎悻役松江手疵負せ已後両方内済仕候一件口書	巳年11月	美・横長	1冊		
4-5	天保三辰年四月 児島郡粒江村役二郎源次郎親類備中窪屋郡高沼村帳外平吉法名円教同村沖堤外細川二而致溺死候一件吟味口書写 児島郡粒江村控	天保3年4月	美・横長	1冊		
4-6	天保六未年正月 児島郡粒江村鬼坂池二而備中窪屋郡倉鋪村安五郎致溺死候骸同村江引渡申一件書類	天保6年1月	美・横長	1冊		
4-7	天保十二丑年五月 児島郡天城村町分家主長吉酒狂二而溺死一件吟味口書	天保12年5月	美・横長	1冊		
4-8	弘化二巳年七月 児島郡天城村町分家主長吉酒狂二而溺死一件吟味書写	弘化2年7月	美・横長	1冊		
4-9	嘉永三戌年二月 児島郡粒江村之内玄甫新田堤下汐川二而作州真島郡落合村是三房溺死御注進写	嘉永3年2月	美・横長	1冊		

4-10	嘉永六丑年五月廿一日 児島郡粒江村字清瀧五番池二溺死居申八軒屋喜蔵弟増蔵義御注進口書共控 粒江村	嘉永6年5月2日	美・横長	1冊		
4-11	明治二年巳二月 赤坂郡西中村弥右衛門兄紋吉後家児島郡天城村常蔵方へ参居候内溺死一件引合之者口書并御注進写 天城村扣	明治2年2月	美・横長	1冊		
4-12	寅年三月 児島郡天城村町分歳之介溺死家内親類五人組合之者共口書并村役人書付共写 天城村扣	寅年3月	美・横長	1冊		
4-13	巳正月 児島郡天城村武右衛門溺死仕候二付悴柳蔵并親類五人組合組判以口書村役人御注進書上共写 村扣	巳年1月	美・横長	1冊		
4-14	文政十三寅年四月十四日 児島郡粒江村文七悻市太郎無願二而四国八十八ヶ所順拝二罷出予州宇和郡宇野町ニおみて致病死候一件吟味書類写 控	文政13年4月14日	美・横長	1冊		ネズミ喰あり
4-15	天保十一子年六月 [児]島郡粒江村勇次郎養父利三郎夫婦四国順拝二罷出利三郎阿州名東郡田宮村二而致病死候一件吟味口書御注進写 粒江村扣	天保11年6月	美・横長	1冊		ネズミ喰甚大のためSILティッシュで包む
4-16	文政十口(三カ)寅十一月 児島郡粒江村松口(之カ)池於御普請所怪我いたし候一件書類写 児島郡粒江村扣	文政13年カ11月	美・横長	1冊		虫喰甚大のためSILティッシュで包む
4-17	文久元年酉十二月 当九月六日御輿昇拾八人中二も七人之者重立荒廻候一条書類写 天城村	文久元年12月	美・横長	1冊		
4-18	文政八年酉九月 児島郡粒江村判頭元右衛門訴状一件吟味書類写 粒江村控	文政8年9月	美・横長	1冊		
4-19	弘化二巳年十一月 児島郡天城村之もの共当正月中旬字宮山江多人数相集候一条再吟味書類并御締之条々留	弘化2年11月	美・横長	1冊		
4-20	天保十一年子十一月 児島郡粒江村与福田村山論一件書上写	天保11年11月	美・横長	1冊		
4-21	天保十二丑年十月 児島郡粒江村西分御百姓共天城表より出訴一条吟味口書類写 粒江村名主天城村九一郎	天保12年10月	美・横長	1冊	福田村境山論について	虫喰あり
4-22	天保八酉年五月 児島郡粒江村金十郎万吉内別弟清蔵并千代吉外拾八人藤戸村出職人坂吉八木取扱候一条吟味口上書写 粒江村名主天城村九一郎扣	天保8年5月	美・横長	1冊		虫喰大のためSILティッシュで包む
4-23	天保九戌年十二月 児島郡天城村虎吉伝十郎兩人買置候備中帯江御蔵米滞出入一件願書類	天保9年12月	美・横長	1冊		虫喰大のためSILティッシュで包む
4-24	[帯江戸川氏蔵米切手不払に付天城村虎吉伝十郎兩名訴訟の件]	(天保9年12月カ)	美・横長	1冊		4-23とほぼ同内容 虫喰大のためSILティッシュで包む
4-25	天保十亥年二月 児島郡天城村虎吉伝十郎兩人買置候備中窪屋郡帯江御蔵米一条熟談下済并銀子請取方共一切書類留	天保10年2月	美・横長	1冊		4-23の件を内済したもの
4-26	天保十四卯年三月 児島郡天城村町分井之介養子長次郎播州多可郡田高村播磨屋亀蔵呉服物売懸銀相滞候由二而同村菊太郎大坂御役所へ願出候一件吟味口書濟口書類共写	天保14年3月	美・横長	1冊		
4-27	文久元酉年九月 竹田屋喜之介御呼出之一条書類村控	文久元年9月	美・横長	1冊	乾物・酒代金滞納の件	
4-28	文久三年亥七月 去ル申十一月黒石五人組頭源五郎より竹田屋喜之介後家借入金[ ](滞カ)一条訴文共書類写 天城村扣	文久3年7月	美・横長	1冊		虫喰あり
4-29	辰八月 児島郡天城村町分之者古着類売抜之儀町方〇御移合ニ相成候一条〇糺候口書類 天城村控	辰年8月	美・横長	1冊		
4-30	酉四月 児島郡粒江村金十郎養子仲右衛門御停止之品物棒歩行致商内候一件吟味口書類写	酉年4月	美・横長	1冊		ネズミ喰大のためSILティッシュで包む
4-31	文政十一年子十一月 争論并銀子出入品家中江頼込候義御指留御触写 児島郡天城村	文政11年11月	美・横長	1冊		
4-32	天保十三寅七月 儉約筋御締方御触書人別請印形帳	天保13年7月	美・横長	1冊		
4-33	[家出人探索人相書]	酉年9月	美・横長	1冊	粒江村下人と頭清右衛門外2名→村々御役人中	
4-34	嘉永三戌年二月 御家中様御儉約御触書写并在方亥寅年御触書写 粒江村里正九一郎扣	嘉永3年2月	美・横長	1冊		
5. 商業・売買						
5-1	安政七年申四月引合〇元帳 諸商人職人御改書上調下帳 天城村町分共	安政7年4月	美・横長	1冊		
5-2	申四月 扣 諸商人職人書上帳 天城村	申年4月	美・横長	1冊		
5-3	万延元年申八月 諸商人諸職人願上写帳 天城村	万延元年8月	美・横長	1冊		
5-4	文久三亥年十一月 諸商人諸職人願上写帳 天城村	文久3年11月	美・横長	1冊		

5-5	文久三亥十一月 諸商人願上帳 天城村同町分共扣	文久3年11月	美・横長	1冊		
5-6	卯正月 煙草買入勘定帳 志保田屋	卯年1月	半・横長	1冊		
5-7	巳四月 児島郡天城村町分預り物仕候者口(共カ)流れ古手類売払品数書上帳	弘化2年4月	美・横長	1冊		
6. 町政・村政						
6-1	嘉永四年亥十二月 町入用割帳	嘉永4年12月	美・横長	1冊		
6-2	[安政6年12月～明治2年12月町入用割帳]			1括り(21冊)		6-2-1～21綴り糸で一括り
6-2-1	明治二巳年極月 町入用割帳	明治2年12月	美・横長	1冊		
6-2-2	明治二巳年七月 町入用割帳	明治2年7月	美・横長	1冊		
6-2-3	明治元年辰十二月 町入用割帳	明治元年12月	美・横長	1冊		
6-2-4	慶応四辰七月 町入用割帳	慶応4年7月	美・横長	1冊		
6-2-5	慶応三年卯十二月 町入用割帳	慶応3年12月	美・横長	1冊		
6-2-6	慶応三年卯七月 町入用割帳	慶応3年7月	美・横長	1冊		
6-2-7	慶応二寅極月 町入用割帳	慶応2年12月	美・横長	1冊		
6-2-8	慶応二寅七月 町入用割帳	慶応2年7月	美・横長	1冊		
6-2-9	慶応元年丑十二月 町割入用帳	慶応元年12月	美・横長	1冊		
6-2-10	慶応元年丑七月 町入用割帳	慶応元年7月	美・横長	1冊		
6-2-11	元治元年子十二月 町入用割帳	元治元年12月	美・横長	1冊		
6-2-12	元治元年子七月 町入用割帳	元治元年7月	美・横長	1冊		
6-2-13	文久三亥極月 町入用割帳	文久3年12月	美・横長	1冊		
6-2-14	文久三亥七月 町入用割帳	文久3年7月	美・横長	1冊		
6-2-15	文久二戌極月 町入用割帳	文久2年12月	美・横長	1冊		
6-2-16	文久二戌七月 町入用割帳	文久2年7月	美・横長	1冊		
6-2-17	文久元酉極月 町入用割帳	文久元年12月	美・横長	1冊		
6-2-18	文久元酉七月 町入用割帳	文久元年7月	美・横長	1冊		
6-2-19	万延元年申極月 町入用割帳	万延元年12月	美・横長	1冊		
6-2-20	万延元年申七月 町入用割帳	万延元年7月	美・横長	1冊		
6-2-21	安政六年未極月 町入用割帳	安政6年12月	美・横長	1冊		
6-3	天保十三歳寅八月 田井邑百姓一同御歎始末附留帳	天保13年8月	美・横長	1冊		
6-4	文政八酉正月 天城村分五人組合改帳	文政8年1月	美・横長	1冊		
6-5	[第三十七区戸長へ届・願等綴込]	壬申(明治5)年8月 ～6年11月16日	半・縦	1冊		
6-6	[第三十七区雑件綴込]	明治5年5月2日～7 年4月4日	半・縦	1冊		
6-7	宝暦九年卯九月改正 児島郡天城村独身書上帳	宝暦9年9月	美・横長	1冊		虫損あり 綴り紐外れのためSILティッシュで包む
6-8	安永五年申二月 児島郡天城村独身書上帳	安永5年2月	美・縦	1冊		虫損あり 綴り紐外れのためSILティッシュで包む
6-9	安政二年乙卯歳九月写之 天城町屋敷間数帳 村長安兵衛私扣	安政2年9月	美・縦	1冊		(表紙見開き)「寛政二庚戌年帳面 天保十二年丑年正月写之 天城村屋舗間数帳 中島九一郎私扣」
6-10	[児島郡第三十七区雑件綴込]	明治5年8月22日～ 6年11月30日	半・縦	1冊		
6-11	文政八乙酉年正月 粒江村諸願記	文政8年1月	半・縦	1冊		
7. 租税						
7-1	[明治三年十一月福田新田裁許面算用綴]			1括り(6冊)		7-1-1～6紙綴りで一括り
7-1-1	明治三年午十二月 福田新田地代拝借并借入共惣辻勘定御裁許面録帳 (朱書)「壹」	明治3年12月	美・横長	1冊		
7-1-2	明治三年午十一月 福田新田地代銀取立御裁許面算用帳 (朱書)「貳」	明治3年11月	美・横長	1冊		
7-1-3	明治三年午十一月 福田新田地代銀拝借并下方借入諸払御裁許面勘定帳 (朱書)「三」	明治3年11月	美・横長	1冊		
7-1-4	明治三年午十一月 三拾五町五反歩地代銀不足書抜帳 (朱書)「四」	明治3年11月	美・横長	1冊		
7-1-5	明治三年午十一月 三拾七町歩元地代不足元利取立并追増銀立返人別書抜帳 (朱書)「五」	明治3年11月	美・横長	1冊		
7-1-6	明治三年午十一月 福田新田築立杭胴木代拝借御裁許面勘定帳 (朱書)「六」	明治3年11月	美・横長	1冊		
7-2	明治四年未五月 扣 福田新田惣御勘定御裁許面之内御差別御年賦仕出并年々請払差引言上帳	明治4年5月	美・横長	1冊		
7-3	明治四年未五月 扣 福田新田惣御勘定御裁許面請払決算書上帳	明治4年5月	美・横長	1冊		
7-4	明治四年未五月 福田新田惣御勘定御裁許免請払決算書上帳	明治4年5月	美・横長	1冊		

7-5	覚(福田新田惣勘定御裁許面払上銀の事)	庚午年11月22日	美・横長	1冊	大島守人→日笠武一郎・中島賢吉	紙縫りが外れているためSILティッシュで包む
7-6	御年貢米切手請取通	文政7年9月	美・横長	1冊	的場六大夫→粒江村名主天城村富次郎	
7-7	御米通	卯年8月	美・横長	1冊	塩田屋九一郎→御蔵御奉行	
7-8	[御年貢米請取通・御米通]			1括り(9冊)		7-8-1~9紙縫りで一括り
7-8-1	御年貢米請取通	天保14年9月	美・横長	1冊	長田八左衛門→天城村名主九一郎・同三郎兵衛	
7-8-2	御年貢米請取通	天保13年9月	美・横長	1冊	長田八左衛門→天城村名主九一郎・同三郎兵衛	
7-8-3	御年貢米通	天保12年9月	美・横長	1冊	天城村名主九一郎・同三郎兵衛→御蔵御奉行	
7-8-4	御年貢米通	天保15年9月	美・横長	1冊	天城村名主九一郎・同三郎兵衛→御蔵御奉行	
7-8-5	御米通	亥年8月	美・横長	1冊	塩田屋九一郎→御蔵御奉行	
7-8-6	御米通	酉年8月1日	美・横長	1冊	塩田屋九一郎→御蔵御奉行	
7-8-7	御米通	丑年8月	美・横長	1冊	塩田屋九一郎→御蔵御奉行	
7-8-8	御米通	戌年8月	美・横長	1冊	塩田屋九一郎→御蔵御奉行	
7-8-9	御米通	子年8月	美・横長	1冊	塩田屋九一郎→御蔵御奉行	
7-9	天保十亥年二月 金銀具御指留請書印形帳	天保10年2月	美・横長	1冊		
7-10	天保十亥年三月 銀かんざしわけ留金具書上帳 天城村	天保10年3月	美・横長	1冊		
7-11	[銀簪金具類指留請書印形帳]	子年2月19日	美・横長	1冊	常五郎外40名→名主九一郎外3名	
7-12	明治三庚午年閏十月 児島郡藤戸村組村々旧給所開并新開発地永荒発返口田畑見取米改帳 入江甚造 窪田升三 二宮又次郎	明治3年閏11月	美・横長	1冊		(朱書)「藤戸組之内天城村之分写取置なり」
7-13	明治四年未五月 福田新田三拾七町三拾五町五反歩元地代不足三ヶ年賦払上三拾七町追増御下人別押合帳 但午より未迄三ヶ年賦 小畝 中畝 東塚	明治4年5月	美・横長	1冊		
7-14	明治四年未五月 扣 福田新田惣御勘定面請払差引払	明治4年5月	美・横長	1冊		
7-15	明治三年暮分同四未五月改 三拾七町株三拾五町五反株元地代払上三七株追増銀下ヶ指引帳 小畝 中畝 東元地代取立不足御差別被仰付午暮より三ヶ年賦払上去午壹ヶ年分	明治3年12月~4年5月	美・横長	1冊		
7-16		年月日未詳	美・横長	1冊		
7-17	[明治4年3月福田新田裁許面算用綴]			1括り(3冊)		7-17-1~3紙縫りで一括り
7-17-1	明治四年辛未三月 福田新田惣勘定御裁許面諸払方之内人別歎願写并北畝村役人歎願写三拾七町株地代不足追増請払決算仕出下書上帳 中島扣	明治4年3月	美・横長	1冊		
7-17-2	明治四年辛未三月 福田新田惣勘定御裁許面諸払方之内品々歎願書上帖 福田新田 北畝	明治4年3月	美・横長	1冊		
7-17-3	明治四年辛未三月 三拾七町株地代不足并追増銀請払決算仕出下書上帳	明治4年3月	美・横長	1冊		
7-18	天保九戌年五月 江戸御上屋舗御焼失二付下夕方より寸志銭差上帳 天城村控	天保9年5月	美・横長	1冊		
7-19	弘化二年巳ノ十二月 未進人書出シ帳 天城村	弘化2年12月	美・横長	1冊		
7-20	[明治3年福田新田御裁許面雜記]			1括り(2冊)		7-20-1~2紙縫りで一括り
7-20-1	明治三年午十二月 福田新田惣勘定御裁許面片付方御用雜記 (朱書)「金銭受渡其外肝要ノ記録」 中島	明治3年12月	美・横長	1冊		
7-20-2	[福田新田惣勘定取調裁許の件]	庚午(明治3)年10	美・横長	1冊		
7-21	(朱書)「申二月十四日中畝清三郎出願書写置」 奉願上口上書	申(明治5)年2月14日	美・横長	1冊	福田新田地代払上延引の件	
7-22	丑年十二月分 水沢幸田塩屋共三軒加地子算用帳入			1袋(4冊2通1纏め)		7-22-1~7-袋
7-22-1	[嘉永5年12月九一部分御年貢請取通]			1纏め(3通)		7-22-1-1~3-纏め
7-22-1-1	御年貢米請取通	嘉永5年12月	横継紙	1通	名主常太郎・同添役栄三郎→九一郎	
7-22-1-2	御年貢米請取通	嘉永5年12月	横継紙	1通	名主常太郎・同添役栄三郎→再別座九一郎	
7-22-1-3	御年貢米請取通	嘉永5年12月	横継紙	1通	名主常太郎・添役栄三郎→九一郎別座	
7-22-2	覚(地利米銀札持せ上の件)	寅年1月29日	横継紙	1通	中島九一郎→水沢常太郎	
7-22-3	年貢味進出シ帳 中島氏	年月日未詳	半・横長	1冊		
7-22-4	内勘帳	寅年3月10日	美・横長	1冊		
7-22-5	子年 未進書出シ	子年	美・横半折	1冊		
7-22-6	[銀高書出(自分・預り分・御除地)]	年月日未詳	美・横折紙	1通		
7-22-7	[石高銀高書出(水沢分・本家分)]	年月日未詳	美・横長	1冊		
7-23	[租税徴収関係一括]			1括り(3冊2通1括り)		7-23-1~6一括り
7-23-1	天保十一子年八月吉祥 惣勘定諸色渡帳 ○勢	天保11年8月吉祥	美・横長	1冊		
7-23-2	御米通	辰年8月	美・横長	1冊	塩田屋九一郎→御蔵御奉行	
7-23-3	御米通	巳年8月	美・横長	1冊	塩田屋九一郎→御蔵御奉行	

7-23-4	御年貢未進人請定書写	年月日未詳	横継紙	1通	①嘉永2年宛所なし片原借主頼吉書付 ②御役人中宛猶吉外3名算用書	
7-23-5	覚(銀取替書上)	卯年12月	横継紙	1通	塩田屋→(宛名なし)	
7-23-6	[よし野屋亀吉より粒浦小川利太郎へ年賦銀払入の件]			1括り(2通)		7-23-6-1~2一括り
7-23-6-1	覚(銀札取替年賦払入約定)	天保13年2月	横折紙	1通	粒浦利太郎→よし野屋亀吉	虫損大
7-23-6-2	[中島九一郎宛小川利太郎書状]	年未詳2月13日	横継紙	1通	よし野屋亀吉の年譜銀が滞っている件について受取の	
7-24	[地代銀取立等書付括]			1括り(6通2)		7-24-1~8一括り
7-24-1	[大塚寿吉より中島賢吉宛子年勘定帳一件]			1包(2通)		7-24-1-1~2一包(包紙表書)「未八月十一日 古新田へ到来 古新田出張先二而 中島賢吉様 八軒屋大塚大吉 ○下急用」
7-24-1-1	[中島宛寿吉書状]	(未年)8月11日	横継紙	1通	子年勘定帳写出来につき差出の件	(上書)「中島様 寿吉」
7-24-1-2	[書付(御用紙向入)]	年月日未詳	横切紙	1通	大塚寿吉→中島賢吉	「御出張にて中島賢吉様 八軒屋大塚寿吉 御用紙向
7-24-2	覚(地代銀につき取計方条々)	年未詳5月6日	横継紙	1通	中畝里正文吾外4名→(宛名なし)	(奥書)守人→武一郎・賢吉
7-24-3	[中島宛南畝嘉太郎書状]	年未詳3月1日	横継紙	1通	四百三拾町歩残り地一条について他借方基だ難洪の	(包紙表書)「中島賢吉様 南畝嘉太郎」
7-24-4	[中島宛為太郎書状]	年未詳2月25日	横継紙	1通	過日大江連島三ヶ村庄屋兩人が来て談判に及び、三ヶ年賦の取立を歎出の件	追啓を記した小切紙が1枚挟まっている(端裏書)「二月廿五日北畝と大江連島○○○○三ヶ年賦歎状」
7-24-5	[大里正中島賢吉宛大島権大属書状]	年未詳3月8日	横継紙	1通	福田新田堤入用を大江連島が出銀の件について北畝役人より明後日迄に可否を掛け合うべき旨	(包紙表書)「御用至急 大里正中島賢吉殿 大島権大属」
7-24-6	奉願上写(福田沖新開の内にて中畝官治へ地所引渡願)	明治4年1月	縦切紙	1通	南畝嘉太郎→大里正	(貼紙)「中畝官次懸り南畝嘉太郎書付写」
7-24-7	[中島宛中畝一平次書状]	年未詳2月23日	横切紙	1通	村方の安治入札を差し上げる	
7-24-8	[入礼包紙一包]			1包(10通)		7-24-8-1~10一包(包紙表書)「上り地御売払入札九枚」
7-24-8-1	[中畝清三郎入礼包紙]	年月日未詳		1通	15.0×4.7	包紙のみで中身なし
7-24-8-2	[松江清七郎元方揚り地片柳入礼包紙]	年月日未詳		1通	16.7×5.0	包紙のみで中身なし
7-24-8-3	[松江庄作元方地御払入礼包紙]	年月日未詳		1通	10.8×4.4	包紙のみで中身なし
7-24-8-4	[中畝孝平入礼包紙]	年月日未詳		1通	10.3×4.3	包紙のみで中身なし
7-24-8-5	[中畝保平入礼包紙]	年月日未詳		1通	13.0×3.8	包紙のみで中身なし
7-24-8-6	[東○入礼包紙]	年月日未詳		1通	15.0×3.8	包紙のみで中身なし
7-24-8-7	[粒江林三郎中畝御払地入礼包紙]	年月日未詳		1通	10.0×3.5	包紙のみで中身なし
7-24-8-8	[南畝彦四郎入礼包紙]	年月日未詳		1通	8.1×2.6	包紙のみで中身なし
7-24-8-9	[中畝安治入礼包紙]	年月日未詳		1通	8.4×3.3	包紙のみで中身なし
7-24-8-10	[中畝宮治入礼包紙]	年月日未詳		1通	10.8×3.4	包紙のみで中身なし
7-25	[福田新田惣勘定等関係書類]			1括り(4冊4通4括り1纏め)		7-25-1~13一括り
7-25-1	[賢吉宛武一郎書状]	年未詳11月30日	横継紙	1通	①勘定帳認方について ②近日東児島から大島氏廻村の件 ③盗物で質入等されている物について	付紙がはがれて挟まっている
7-25-2	[書類指上の件等]			1括り(4通1纏め)		7-25-2-1~5一括り
7-25-2-1	[中島宛卯太郎・善八郎書状]	年未詳3月22日	横継紙	1通	下村桑七・味野村平次郎より申して来た廉について	
7-25-2-2	[中島賢吉宛寿吉書状]	年未詳3月23日	横切紙	1通	過日仰せ聞かされた一条について請けるよう申し聞かせた件	
7-25-2-3	[中島宛寿吉書状]	年未詳3月23日	横継紙	1通	書類を早々に申談すべきところ手続きを覚え兼ねるので如何分とも指図通りに取り計らうとの件	
7-25-2-4	口上(過日の書類共別紙を認め指上の件)	年未詳3月24日	横継紙	1通	寿吉→中島	
7-25-2-5	[福田沖新開杭胴木代と地代差引済証明の件]			1纏め(2通)		7-25-2-5-1~2一纏め
7-25-2-5-1	乍恐奉歎願候(福田沖新開杭胴木代と荒地差引済証明の件)	辛未年3月	縦継紙	1通	福田古新田治平・同亡弥宗治悴役次郎→(宛名なし)	(奥書)小畝目代紋次郎外2名→日笠武一郎・中島賢吉
7-25-2-5-2	覚(杭胴木代と地代にて差引の件)	辛未年3月	横切紙	1通	南畝嘉太郎→福田古新田里正為太郎	
7-25-3	[福田新田内地所関連書類]			1括り(1冊5通1括り)		7-25-3-1~7一括り
7-25-3-1	場所不極三拾七町歩割増銀人別算用取立帳 北畝	年月日未詳	美・横長	1冊		
7-25-3-2	[元地代不足人別書上]		横折紙	1通	里正黒石善太郎・目代試補実太郎→(宛名なし)	
7-25-3-3	[差出宛名不明書状別啓]	年月日未詳	横切紙	1通	八重村亀屋払上不足分は秀次郎座に書き入れてある男女取替願書上帳を晦日までに差出すようにとの事につき延引の件	小切紙2枚が挟まっている(目録には取らず)
7-25-3-4	[中島宛北畝繁太郎書状]	年未詳8月1日	横継紙	1通	別紙願書三冊を指出しているのて宜しく願ひする 他所者について取調の件	
7-25-3-5	[中島宛繁太郎書状]	年未詳8月12日	横継紙	1通		
7-25-3-6	[中島宛北畝繁太郎書状]	年未詳7月28日	横継紙	1通	八重亀屋清右衛門へまたぞろ人を遣わした所、元地代追増銀共に済ませた件	(端裏書)「追増懸り談合積り北畝分 秀次郎名前之内八重村亀屋清右衛門 左新田紋吉跡 右胴木銀調へ南畝嘉太郎」

7-25-3-7	〔福田新田内地所引合関連書類〕			1括り(2通3括り)		7-25-3-7-1~5-括り
7-25-3-7-1	覚(酒等代銀受取)	午年7月12日	横切紙	1通	北畝藤平→中島	
7-25-3-7-2	〔福田新開地所引渡関係書状〕			1括り(2通)		7-25-3-7-2-1~2-括り
7-25-3-7-2-1	〔中島安平宛小田近一郎書状〕	年未詳6月17日	横継紙	1通	福田新開亡六右衛門分の上村弥太郎と田之口村半左衛門の引受地のうち、本庄村仙右衛門買請地の引渡し が今以って延引している件	(包紙表書)「中島安平様 小田近一郎」
7-25-3-7-2-2	〔小田近一郎宛中島賢吉書状下書〕	年未詳6月23日	横切紙	1通	本庄村仙右衛門買請地並びに笹沖村亡四郎右衛門沖村政吉より証文二通の二株地面引渡の件	
7-25-3-7-3	〔福田新田内三十七町歩地所算用の件〕			1括り(3通2包)		7-25-3-7-3-1~5-括り もとの紙綴りを保存しSIL ティッシュの紐で括り直す
7-25-3-7-3-1	〔大島より中島へ伝言一件〕			1包(2通)		7-25-3-7-3-1-1~2-包 (包紙表書)「大島様伝言星 島書状 中島賢吉様 大塚大吉 急御用」
7-25-3-7-3-1-1	〔大吉・賢吉宛宜平書状〕	年未詳6月9日	横継紙	1通	大島より中島への伝言「三十六町歩の取り扱いは過半 が片付いたので何日までに済むかの目途を立て早く申 し出るように」	
7-25-3-7-3-1-2	〔賢吉宛大吉書状〕	年未詳6月9日	横継紙	1通	清三郎を今日呼び寄せ相対の積りである	
7-25-3-7-3-2	〔中島宛清三郎書状〕	年未詳6月18日	横継紙	1通	三十七町歩地代取立諸算用帳を昨晚までには調べて 差し上げるべきところ大延引の件	
7-25-3-7-3-3	〔差出宛名未詳書状〕	年未詳6月12日	横継紙	1通	福田新田地所引合のため小監察出張の日限を取り決 め申し出るよう伝願したが未だ沙汰が無い件	
7-25-3-7-3-4	〔中島賢吉宛大塚大吉書状〕	年未詳6月12日	横継紙	1通	帳面類を引き合わせてみたが極め兼ね凡その目途は 立ったので丁度ここというところに極めておいた	
7-25-3-7-3-5	〔福田新田内三十七町歩取調一件〕			1包(2通)		7-25-3-7-3-5-1~2-包 (包紙表書)「五月晦日到来 惣勘定一件大島守人様御用状在中 中島賢吉様 大 塚大吉 御用急」
7-25-3-7-3-5-1	〔中島賢吉宛大島守人書状〕	年未詳5月27日	横継紙	1通	福田新田内三拾七町歩の地所引合のため出張するの で日限を申し出るようにとの事	(包紙表書)「御用 大島守人 大里正中島賢吉殿」
7-25-3-7-3-5-2	〔中島賢吉宛大塚大吉書状〕	年未詳5月30日	横継紙	1通	三十七町歩取り調べについて鎌田に会って取り調べる 様に申談 同人不快の件	
7-25-3-7-4	〔名前書上〕	年月日未詳	横切紙	1通		
7-25-3-7-5	〔地所関係一括〕			1括り(3通)		7-25-3-7-5-1~3-括り
7-25-3-7-5-1	〔書付(午五月廿二日日笠より受取惣勘定一件)〕	年月日未詳	横切紙	1通		
7-25-3-7-5-2	三拾七町歩仕出し帳(雛形)	年月日未詳	横継紙	1通		
7-25-3-7-5-3	覚(北畝及び中畝地所書上)	午年6月16日	横継紙	1通	中畝清三郎→(宛名なし)	
7-25-4	口上(中畝地所入札につき代銀払上の件)	年未詳1月18日	横折紙	1通	中畝一平治→中島	(包紙表書)「中島様 尊○ 中畝一平治」
7-25-5	〔書上帳払上金一件書状括り〕			1括り(3通)		7-25-5-1~3-括り
7-25-5-1	〔中島賢吉宛日笠武一郎書状〕	年未詳12月15日	横継紙	1通	講会や講の得番、惣勘定一件や勘定帳出来の件など	
7-25-5-2	〔中島宛大吉書状〕	年未詳12月15日	横継紙	1通	勘定払込の金子を懸りの者へ遣わすべき事	(包紙表書)「中島賢吉様 八軒屋大吉」
7-25-5-3	〔中島宛大吉書状〕	年未詳12月16日	横継紙	1通	勘定帳払上金の儀について	
7-25-6	〔中島賢吉宛南畝嘉太郎書状〕	年未詳11月5日	横継紙	1通	水面地懸合方について居り合わないのそのことを書 き上げるようにとの事について	(包紙表書)「中島賢吉様 南畝嘉太郎 御尊下別紙 渡」
7-25-7	〔福田新田惣勘定裁許面払上一件〕			1括り(11通3包1纏め)		7-25-7-1~16-括り
7-25-7-1	〔中島賢吉宛日笠武一郎書状〕	年未詳閏10月16日	横継紙	1通	嘉太郎が八軒屋より惣勘定引合帳を未だに指し越して いない件	
7-25-7-2	〔日笠・中島宛大吉書状〕	年未詳閏10月16日	横継紙	1通	福田新田勘定帳引合帳面で私の手元で認めた分を急 速に指し出すようにとの件	
7-25-7-3	〔御用状受取覚2通〕			1纏め(2通)		7-25-7-3-1~2-纏め
7-25-7-3-1	覚(御用状受取)	年未詳閏10月16日	横切紙	1通	南畝嘉太郎→日笠武一郎	
7-25-7-3-2	覚(御用状受取)	年未詳閏10月16日	横切紙	1通	黒石善太郎→(宛名なし)	
7-25-7-4	〔中島賢吉宛日笠武一郎書状〕	年未詳閏10月15日	横継紙	1通	惣勘定帳面が年延になってしまっは宜しくないの で弥太郎掛り分は別にして急速に帳面を調べて差し出 すべしとの件	
7-25-7-5	〔中島宛南畝嘉太郎書状〕	年未詳10月7日	横継紙	1通	御裁許面について亡父存生中から中畝の清三郎が事 情をよく呑み込んでいるので役人出張の節も同人を呼 び寄せて来た件	
7-25-7-6	〔日笠・中島宛南畝嘉太郎書状〕	年未詳10月4日	横切紙	1通	明五日の日取が延引し、なおまた日限まで取り極め移 すとの件、承知した	(包紙表書)「中島賢吉様 御用 南畝嘉太郎 御受」



7-25-7-7	〔日笠・中島宛南畝嘉太郎書状〕	年未詳10月4日	横継紙	1通	明五日は延引なされたとの事だが、なおまた同日罷り出るようにとの趣について承知したとの件	(包紙表書)「中島賢吉様 御用 南畝嘉太郎 御請」
7-25-7-8	〔日笠・中島宛南畝嘉太郎書状〕	年未詳9月28日	横継紙	1通	惣勘定裁許面勘定について一昨二十五日に罷り出るようにとの事だったが不参の件	(包紙表書)「日笠武一郎様 中島賢吉様 御用 南畝嘉太郎 御請」
7-25-7-9	〔野崎武吉郎・鎌田弥太郎宛中島賢吉・日笠武一郎書状〕	年未詳9月18日	横切紙	1通	福田新田惣勘定裁許一件について来る24日に天城村戎屋林平方にて示談の件	
7-25-7-10	〔中島宛大塚書状〕	年未詳8月17日	横継紙	1通	夏方福田新田出張中入用帳一覧の件	
7-25-7-11	〔大島守人より福田新田書付廻達一件〕			1包(2通)		7-25-7-11-1~2一包 (包紙表書)「御用急 大里正中 中島賢吉殿 大島守人」
7-25-7-11-1	〔武一郎・賢吉宛守人書状〕	年未詳9月9日	横切紙	1通	福田新田書付一通を廻すので委細は面談のうえ申し入れる	(上書)「武一郎殿 賢吉殿 守人」
7-25-7-11-2	〔中島賢吉宛日笠武一郎書状〕	年未詳9月10日	横継紙	1通	福田新田一件引合御書付一通を大島氏より送ってきたので落手するように	
7-25-7-12	〔福田村寿太郎外2名宛中島賢吉・日笠武一郎書状〕	年未詳9月18日	横継紙	1通	福田新田惣勘定裁許一件引合に付、出会通知	(包紙表書)「福田村寿太郎殿 古新田保太郎殿 南畝嘉太郎殿 御用急 日笠武一郎」 本紙と包紙が糊付けされている
7-25-7-13	〔鎌田弥太郎依頼の書付下渡に付き返答一件〕			1包(3通)		7-25-7-13-1~3一包 (包紙表書)「中島賢吉様 御用急 日笠武一郎」
7-25-7-13-1	〔日笠武一郎・中島賢吉宛鎌田弥太郎書状〕	年未詳10月24日	横切紙	1通	先達で依頼した書付について夫々お伺い下さったところ、附紙によって御下げになった件について	
7-25-7-13-2	〔中島賢吉宛日笠武一郎書状〕	年未詳10月26日	横継紙	1通	鎌田よりの別紙返答についてどのように取り計らうべきかの件	
7-25-7-13-3	〔〇〇宛賢吉・武一郎書状(下書カ)〕	年未詳10月24日	横切紙	1通	福田新田惣勘定一件差函の件	
7-25-7-14	〔日笠武一郎・中島賢吉宛鎌田弥太郎書状〕	年未詳10月3日	横切紙	1通	福田新田惣勘定の件に付き別紙口上書差出	
7-25-7-15	〔福田新田惣勘定指出一件〕			1包(2通)		7-25-7-15-1~2一包 (包紙表書)「中島賢吉様 御用急 日笠武一郎」
7-25-7-15-1	〔中島宛日笠書状〕	年未詳12月26日	横継紙	1通	惣勘定一条払上帳差越に付き調印の件	
7-25-7-15-2	〔日笠武一郎・中島賢吉宛大吉書状〕	年未詳12月26日	横継紙	1通	福田新田惣勘定明日指出に付き、裁許払上の銀札指出の件	
7-25-7-16	〔元方上り地代金払上一件〕			1包(3通)		7-25-7-16-1~3一包 (包紙表書)「十二月廿八日来 翰上り地一条 中島賢吉様 御用筋大意 松江文吾」
7-25-7-16-1	〔久吾宛賢吉書状(控カ)〕	年未詳12月28日	横継紙	1通	元方上り地に関する調面の趣は承知したとの件	
7-25-7-16-2	覚(見面壹町三反壹畝拾九歩半代金払上)	午年12月28日	横継紙	1通	鎌田弥太郎・野崎武吉郎→日笠・中島御両所	(端裏書)「鎌田方相廻り候書付写」
7-25-7-16-3	〔中島賢吉宛松江文吾書状〕	年未詳12月28日	横継紙	1通	元方上り地代金払上につき野崎請見届について問い合わせの件	
7-25-8	〔北畝地代不足関連帳面〕	年月日未詳	横折紙	1纏め(3丁)		SILティッシュで包む
7-25-9	地代銀請取通	年月日未詳	横切紙	1通	御新開御用所→福田新田林介	
7-25-10	福田新田惣勘定三拾七町株三拾五町五反歩元地代不足取立書類并払上御断歎願追増銀御下ヶ渡書類大江連島歎願書類共	年月日未詳	半・横長	1冊		
7-25-11	〔地代等請払勘定帳面〕	年月日未詳	半・横長	1冊	福田新田に関するものカ	
7-25-12	〔地代差引勘定書上〕	年月日未詳	半・横長	1冊		綴り紐外れのためSILティッシュで包む
7-25-13	〔地代不足・追増銀渡方・利足受取立戻書上〕	年月日未詳	半・横長	1冊		
8. 金融・貸借						
8-1	〔御融通方御借上金〕			1括り(3冊)		8-1-1~3紙綴りで一括り
8-1-1	明治二年巳四月 御融通方御借上金人別書上帳 天城	明治2年4月	美・横長	1冊		
8-1-2	明治二年巳十二月 御借上金御下ヶ渡請印形帳	明治2年12月	美・横長	1冊		
8-1-3	明治三年午三月 御借上金元利決算受取人別割渡帳	明治3年3月	美・横長	1冊		
8-2	慶応四年辰二月五日御受 御融通方御借上金人別書上帳 天城村控	慶応4年2月5日	美・横長	1冊		
8-3	明治元年辰十二月 御借上金御立用米差引算用不足取立帳 天城	明治元年12月	美・横長	1冊		
8-4	文政十二丑年七月 御借上銀割賦取立帳 天城村	文政12年7月	美・横長	1冊		
8-5	六拾人講議定	年月日未詳	美・横長	1冊	議定文の下書	
8-6	天明六年午五月四日 御代官様御用銀指出し扣帳	天明6年5月4日	美・横長	1冊		綴り紐が切れている
8-7	弘化三年午正月 立引算用帳 天城村	弘化3年1月	美・横長	1冊		
8-8	明治四年辛未御勘定以後 福田新田惣勘定元築立之節 拝借証書類取調向大切書類 但証書類諸帳面大切之品々裁許後明治七年戌四月十七日跡役日笠武一郎へ引渡ス外書類一紙会議所請取書あり	明治4年		1括り(2括り)		8-8-1~2一括り

8-8-1	〔新開見分等入用銀一件〕			1括り(1通1纏め)		8-8-1-1~2一括り
8-8-1-1	〔新開見分及び普請夫役等入用銀拝借の件〕			1纏め(1冊1通)		8-8-1-1-1~2一纏め「此式通二引合遣扣惣勘定事濟雑記帳中ニ記載 壬申二月迄」
8-8-1-1-1	証文面写略文	年月日未詳	美・横長	1冊		
8-8-1-1-2	〔新開入用及び福田新田見分入用払上〕	年月日未詳	横切紙	1通		
8-8-1-2	覚(福田新田開見分入用皆済に付き証文下付願)	壬申年1月	縦切紙	1通	松江村里正小岡文吾→日笠武一郎・中島賢吉	
8-8-2	〔新開惣勘定立用済の内拝借返上請取書取調書類〕			1括り(5通1包1纏め)		8-8-2-1~7一括り
8-8-2-1	惣勘定御立用済之内拝借返上御請取書取調書類大切之	年月日未詳	横切紙	1通		
8-8-2-2	〔日笠武一郎・中島賢吉宛福田村田淵時三郎書状〕	年未詳6月10日	横継紙	1通	福田新田新開入用拝借の内払上に付、仮請取書を渡され、今般惣御勘定を差出すうえは、会計庁開墾方へ返上すべき件	
8-8-2-3	開墾方拝借	年月日未詳	横継紙	1通		
8-8-2-4	〔福田新田開墾方拝借の件〕			1纏め(2通)		8-8-2-4-1~2一纏め
8-8-2-4-1	〔中島宛大塚真吉書状〕	年未詳11月7日	横切紙	1通	風邪にて返上延引の件	
8-8-2-4-2	開墾方拝借手振之訳未十月十八日大塚より聞書	未年10月18日	横継紙	1通		
8-8-2-5	口上(新開方入用拝借払上仮受取書の件)	年未詳8月8日	横継紙	1通	三四郎→中島	
8-8-2-6	〔中島宛武一郎書状〕	年未詳2月5日	横切紙	1通	福田新田惣勘定掛り拝借証文書上調印返却の件	
8-8-2-7	〔勘定指出し関連書状〕			1包(3通)		8-8-2-7-1~3一包
8-8-2-7-1	〔賢吉宛武一郎書状〕	年未詳8月16日	横切紙	1通	判形帳差出しの後、古新田より書状到来の件	
8-8-2-7-2	〔中島賢吉宛大塚真吉書状〕	未年8月11日	横切紙	1通	証文面写返上の件	
8-8-2-7-3	〔中島賢吉宛大塚真吉書状〕	年未詳8月11日	横継紙	1通	子年勘定帳指出し延引の件	
8-9	〔借用証文等一括〕			1括り(126通5枚3包5纏め3括り)		8-9-1~142一括り
8-9-1	借用申七五銭之事	寛政元年12月	縦継紙	1通	借主天城村吉平・口入同村又兵衛→塩田屋善次郎	(奥書)名主甚兵衛
8-9-2	借用申銀之事	宝暦3年12月	縦紙	1通	借主天城村藤吉・口入同村次郎太夫→八左衛門	「覚(有所七畝拾歩渡、酉12月29日、藤吉→次郎太夫)1通が貼り付けてある (奥書)同村名主善次郎
8-9-3	借用申銭之事	天明5年12月	縦紙	1通	借主彦右衛門他2名→福本屋弥右衛門	(奥書)同村名主喜蔵
8-9-4	借用申七拾五文銭之事	天明4年11月	縦継紙	1通	売主しほ屋喜蔵他3名→福田屋善次郎	(奥書)同村五人組頭甚兵衛
8-9-5	借用申銭之事	宝暦5年12月	縦紙	1通	借主天城村吉郎兵衛・口入同村市右衛門→塩田屋源吉	(奥書)同村五人組頭小左衛門
8-9-6	借用申銭之事	宝暦5年12月	縦紙	1通	借り主天城村善三郎・証判人同村定右衛門→塩田屋源吉	(奥書)同村名主善次郎
8-9-7	借用申銭之事	明和5年12月	縦継紙	1通	借主天城村十右衛門・口入藤兵衛→塩田屋善二郎	(奥書)同村名主喜蔵
8-9-8	借用申添証文之事	天明6年11月	縦継紙	1通	借り主廻川屋藤四郎・口入桑屋八十八→塩田屋善次郎	(奥書)同村名主喜蔵 継目はがれ 虫喰あり
8-9-9	借用申銭之事	寛政元年12月	縦継紙	1通	借主天城村九郎左衛門・口入同村万五郎→塩田屋善	(奥書)同村名主甚兵衛
8-9-10	借用申銭之事	安永2年11月	縦継紙	1通	借主天城村多兵衛・口入同村佐吉→塩田屋善治郎	(奥書)同村名主喜蔵
8-9-11	借用申銭之事	安永5年3月	縦紙	1通	借主天城村武左衛門・口入同村新蔵→塩田屋善治郎	(奥書)同村名主喜蔵
8-9-12	借用申銀之事	天明3年3月	縦紙	1通	借主片原又太郎・口入八十八→塩田屋善次郎	(奥書)同村名主喜蔵
8-9-13	借用申銭之事	安永8年12月	縦紙	1通	借主天城村平吉・口入同村伴助→塩田屋善治郎	(奥書)同村名主喜蔵
8-9-14	借用申銭之事	安永8年12月	縦紙	1通	借主天城村九郎右衛門他2名→塩田屋善次郎	(奥書)同村名主喜蔵
8-9-15	借用申銭之事	明和5年12月	縦紙	1通	借主天城村友介・口入同村文介→塩田屋善次郎	(奥書)名主喜蔵
8-9-16	借用申銭之事	安永4年12月	縦継紙	1通	借り主有城村徳左衛門・口入天城村弥右衛門→天城塩田屋善次郎	(奥書)天城村名主喜蔵 継目はがれ
8-9-17	借用申銭之事	宝暦2年7月11日	縦切紙	1通	借り主清右衛門・同断市右衛門・口入喜平次→口口や	
8-9-18	借用致銀之事	安永2年12月	縦継紙	1通	天城村五人頭代忠右衛門他8名→塩田屋善次郎	(奥書)同村名主喜蔵
8-9-19	借用申銭之事	明和4年12月	縦継紙	1通	借主天城村惣四郎・口入証文新蔵→塩田屋善口	(奥書)名主源介
8-9-20	借用申銭之事	宝暦11年12月27日	縦切紙	1通	藤戸村舟治→天城村塩田屋善次郎	
8-9-21	借用申銭之事	宝暦8年7月19日	縦紙	1通	借主船頭伊兵衛・口入上町和十郎→塩田屋善次郎	(奥書)名主源介
8-9-22	借用申銭之事	安永5年12月	縦紙	1通	借主天城久蔵他2名→塩田屋善次郎	(奥書)名主喜蔵
8-9-23	借用申銭之事	天明8年12月	縦継紙	1通	借主天城村四郎右衛門・口入同村佐吉→塩田屋善治郎	(奥書)名主甚兵衛・添役八軒屋後吉
8-9-24	借用申銀札之事	享保9年11月	縦紙	1通	粒江村借主佐次衛門・天城村口入文次郎→梅屋半兵衛	(奥書)粒江村庄屋佐一郎
8-9-25	借用申七五銭之事	安永元年12月	縦紙	1通	借主天城村小一郎・口入証人同村茂兵衛→塩田屋善	(奥書)同村名主喜蔵
8-9-26	借用手形	明和6年12月	縦紙	1通	借主天城村八内・口入磯屋半次郎→塩田屋善次郎	(奥書)天城村名主喜蔵
8-9-27	借用申銭之事	安永7年12月	縦切紙	1通	借用主浅平→塩田屋善治郎	
8-9-28	借用手形之事	天明3年12月	縦継紙	1通	借主黒川屋藤四郎・口入久米屋八八→塩田屋善次郎	(奥書)天城村名主喜蔵
8-9-29	借用申銭之事	安永8年2月	縦紙	1通	借主天城村佐介・口入同村伊右衛門→塩田屋善治郎	(奥書)同村名主喜蔵
8-9-30	借用申銭之事	安永元年12月	縦紙	1通	借主天城村権介・口入同村善兵衛→塩田屋善次郎	(奥書)喜蔵
8-9-31	借用申銭之事	明和5年12月	縦紙	1通	売主浦口駒口平・請人八浜や長五郎→塩田屋善次郎	(奥書)名主喜蔵 虫喰あり
8-9-32	借用申七五銭	天明3年12月	縦紙	1通	上ノ町八十八・口入〇町千次郎→塩田屋[ ]	(奥書)天城村名主喜蔵 虫損あり
8-9-33	借用申銭之事	享和元年12月	縦紙	1通	借主天城村此蔵・口入同村武右衛門→しほた屋安次郎	(奥書)名主八軒屋後吉

8-9-34	借用申七五銭之事	安永5年12月	豎継紙	1通	八浜屋宗右衛門・請人磯屋半次郎→塩田屋善治郎	(奥書)同村名主喜蔵
8-9-35	借用申銭之事	明和8年11月	豎紙	1通	天城村借主万五郎・同村口入平吉→塩田屋善治郎	(奥書)同村名主喜蔵
8-9-36	借用申銭之事	宝暦6年4月6日	豎紙	1通	天城村借主羽島屋又三郎他2名→とた屋喜平次	(奥書)同村名主善次郎 覚(家代持上の事、年末詳8月6日、しほた屋→はしま屋) 1通添付
8-9-37	借用申銭之事	天明3年3月8日	豎切紙	1通	大之屋半次郎・同清助→塩田屋善次郎	虫損大
8-9-38	借用申銭之事	明和3年12月	豎継紙	1通	借主天城村伴介・加判同所弥右衛門→善次郎	(奥書)天城村名主源介
8-9-39	借用申銭之事	宝暦4年2月	豎紙	1通	借主徳大夫・同七兵衛→しほた屋源吉	
8-9-40	借用申手形之事	安永6年12月	豎切紙	1通	借主本兵衛・口入善兵衛→塩田屋善治郎	紙の劣化が激しい
8-9-41	借用申銭之事	天明2年12月カ	豎継紙	1通	借主天城村万吉・口入同村佐介→塩田屋善治郎	(奥書)天城村名主喜蔵 継目はがれ
8-9-42	借用申銭之事	宝暦11年2月6日	豎切紙	1通	借主野島屋庄兵衛・伽判つたや仁兵衛→塩田屋善治郎	
8-9-43	借用仕ル銀札之事	寛保2年12月	豎紙	1通	天城村借主源五郎・同村判頭請人伝八郎→後閑村作	(奥書)同村名主善次郎 (裏書)「後閑村作兵衛」
8-9-44	借用申銀札之事	文化8年12月	豎紙	1通	借主天城村新平・証人七郎右衛門→塩田屋易次郎	(奥書)同村名主与惣五郎
8-9-45	借用仕銀之事	延享4年12月	豎紙	1通	天城村孫介・口入同村十右衛門→塩田屋源吉	(奥書)同村五人組頭小左衛門
8-9-46	借用申七五銭之事	明和8年12月20日	豎紙	1通	借主新兵衛・口入片原惣四郎→塩田屋善治郎	(奥書)同村名主喜蔵
8-9-47	借用申銭之事	天明5年7月	豎紙	1通	借主川子岩伝吉・証人同所伝次郎→塩田屋善次郎	
8-9-48	借用申七五銭之事	宝暦13年12月	豎継紙	1通	借主片原七左衛門・口入善兵衛→塩田屋善次郎	(奥書)同村名主源介
8-9-49	借用申銭之事	宝暦6年12月20日	豎紙	1通	借り主河子岩吉兵衛・口入同所市右衛門→塩田や善次郎	(奥書)同村名主金助
8-9-50	借用申銭之事	安永8年12月	豎継紙	1通	借主天城村善兵衛・口入同村源右衛門→塩田屋善次郎	(奥書)同村名主喜蔵
8-9-51	借用申銭之事	安永7年12月	豎継紙	1通	借主天城村佐吉・口入同村兵五郎→塩田屋善治郎	(奥書)同村名主喜蔵
8-9-52	借用申銭之事	安永2年12月	豎継紙	1通	借主天城村源右衛門・口入善兵衛→塩田屋善治郎	(奥書)同村名主喜蔵
8-9-53	借用申銭之事	寛政2年12月	豎紙	1通	借主迫川屋藤四郎・証人福岡屋三郎兵衛→塩田屋善	
8-9-54	借用申銭之事	寛政元年12月	豎紙	1通	借主天城村藤八・口入同村七郎左衛門→しほた屋善次郎	(奥書)名主甚兵衛
8-9-55	借用申銭之事	明和2年12月18日	豎切紙	1通	借主迫川屋藤四郎・口入大黒屋半治郎→塩田屋善治郎	
8-9-56	借用申銭之事	天明4年12月	豎継紙	1通	借主天城村和三郎・口入同村与次右衛門→塩田屋善	(奥書)天城村名主喜蔵 虫損大
8-9-57	借用申銭之事	寛延4年7月11日	豎切紙	1通	星島甚八郎・天城村加判弥右衛門→塩田屋源吉	
8-9-58	借用申銭之事	宝暦10年10月	豎紙	1通	借主野島屋庄吉・口入つたや仁兵衛→塩田屋善治郎	(奥書)同町名主源介
8-9-59	借用申銭之事	天明6年2月	豎紙	1通	借主裏町伝六郎・口入五右衛門→塩田屋善治郎	(奥書)天城村名主喜蔵
8-9-60	借用申銀子銭之事	天明3年12月	豎継紙	1通	清水勘大夫他2名→塩田屋善次郎	(奥書)垣見多門他2名
8-9-61	借用申銭之事	宝暦8年12月	豎紙	1通	借主天城村与左衛門・同村口入忠左衛門→塩田屋善	(奥書)同村名主源助
8-9-62	借用申銭之事	安永7年7月	豎切紙	1通	借主天城村平吉→塩田屋善次郎	
8-9-63	預り申銭之事	寛延3年9月	豎切紙	1通	預り主弥惣治・証判人天城村茂市兵衛他3名→塩田屋	
8-9-64	借用申銭之事	天明8年12月	豎紙	1通	借主新田藤八・口入七郎右衛門→塩田屋善次郎	(奥書)同村名主甚兵衛
8-9-65	借用申銭之事	明和5年12月28日	豎継紙	1通	借主天城村清右衛門・同村口入伝八郎→塩田屋善次郎	(奥書)同村名主喜蔵
8-9-66	借用申七五銭之事	巳年7月	豎切紙	1通	上ノ町善八→塩田屋善治郎	
8-9-67	借用申銭之事	天明8年12月	豎継紙	1通	借主上之町重兵衛・証人島屋弥吉→塩田屋善次郎	(奥書)同村五人与頭信右衛門・同和十郎
8-9-68	借用仕七五銭之事	安永2年12月	豎紙	1通	借主天城村伝八他2名→塩田屋善治郎	
8-9-69	借用銭之事	宝暦2年2月	豎紙	1通	借主天城村安右衛門・同村町分口入役一郎→しほた屋源吉	(奥書)同村五人頭五左衛門
8-9-70	借用申銭之事	天明5年12月	豎紙	1通	借主磯屋半次郎・口入和十郎→塩田屋善次郎	(奥書)天城村名主喜蔵
8-9-71	借用申銭之事	寛政10年12月	豎紙	1通	借主天城村九郎左衛門・口入同村松右衛門→塩田屋易次郎	(奥書)名主三郎四郎
8-9-72	借用申銭之事	安永2年12月	豎継紙	1通	借主天城浅平・口入八十八→塩田屋善治郎	(奥書)同村名主喜蔵
8-9-73	借用申銭之事	安永5年7月	豎継紙	1通	借主天城村八十八・口入同村弥右衛門→塩田屋善次郎	(奥書)同村名主喜蔵
8-9-74	借用申銭之事	寛政8年2月	豎切紙	1通	借主安田屋市五郎→志保田屋安次郎	
8-9-75	借用申銭之事	宝暦4年12月20日	豎継紙	1通	借主天城村藤吉他2名→塩田屋源吉	(奥書)同村名主善次郎 端裏の貼紙はがれ(裏面に図示) SILティッシュで包み本紙に挟む
8-9-76	借用申銭之事	寛延3年12月	豎紙	1通	借主天城村桑屋久兵衛・口入同村花屋弥一郎→塩田屋善次郎	(奥書)同村五人組頭小左衛門
8-9-77	借用申七五銭之事	安永3年12月26日	豎紙	1通	借主新田儀右衛門・口入本町八十八→塩田屋善次郎	(奥書)塩田屋甚兵衛
8-9-78	借用申銭之事	文化14年12月	豎継紙	1通	借主茂七他2名→名主安次郎	(奥書)同村五人組頭恒右衛門
8-9-79	借用申銭之事	文政5年12月	豎継紙	1通	借主新田吉之介・加判北屋新平→塩田屋九一郎	(奥書)天城村五人組頭三郎次
8-9-80	借用申七五銭之事	安永3年12月24日	豎紙	1通	借主川子岩庄八・請人八十八→しほたや善次郎	(奥書)要七
8-9-81	借用申銭之事	安永元年12月	豎紙	1通	借主天城村万吉・口入同村伊右衛門→塩田屋善治郎	(奥書)同村名主喜蔵
8-9-82	借用銭之事	安永7年12月	豎継紙	1通	借主天城村留之介・口入同村佐吉→塩田屋善治郎	(奥書)同村名主喜蔵
8-9-83	借用手形之事	明和元年12月	豎紙	1通	借主新田兵右衛門→塩田屋善治郎	(奥書)清右衛門
8-9-84	〔借用証文3通〕			1包(3通)		8-9-84-1~3一包
8-9-84-1	借用申銭之事	寛政3年12月	豎紙	1通	借主天城村〇〇・口入清吉→新田杉右衛門	(奥書)同村名主広蔵
8-9-84-2	借用申銭之事	寛政12年11月	豎紙	1通	借主天城村〇〇・請人北屋清吉→新田杉右衛門	(奥書)同村名主広蔵
8-9-84-3	借用申銭之事	寛政12年11月	豎紙	1通	借主新田杉右衛門・口入証人清吉→塩田屋安次郎	(奥書)名主広蔵
8-9-85	〔借用証文2通〕			1纏め(2通)		8-9-85-1~2一纏め

8-9-85-1	借用申銭之事	寛政5年12月	竪紙	1通	借主河子岩七郎右衛門・口入福本屋善十郎→塩田屋善次郎	(奥書)名主三郎四郎
8-9-85-2	借用申銭之事	寛政元年12月	竪紙	1通	借主河子岩七郎右衛門・口入上之町弥吉→塩田屋善次郎	(奥書)同村名主甚兵衛「添証文(戌7月13日、河子岩七郎兵衛→塩田屋善次郎)」あり
8-9-86	[借用証文2通]			1纏め(2通)		8-9-86-1~2-纏め
8-9-86-1	借用申銀札之事	享和3年12月	竪継紙	1通	借主天城村留次郎・証人同村与次右衛門→善十郎	(奥書)同村名主広蔵・同八軒屋後吉
8-9-86-2	借用申新札之事	享和2年12月	竪紙	1通	借主天城村弥惣治・加判三郎治→善十郎	(奥書)名主広蔵
8-9-87	借用申ス証文之事	天明8年12月	竪切紙	1通	借主片原善吉→塩田屋善治郎	包紙あり(「手形入 片原善右衛門」) (奥書)大庄屋天城村四郎右衛門 包紙あり(「口合取替新銀札拾貫目証文書通」)
8-9-88	借用申銀子之事	寛政8年11月	竪継紙	1通	植松村名主代三郎他6名→飯田屋易次郎	包紙あり(「証文 片原忠三郎」)
8-9-89	借用申銭之事	宝暦7年7月26日	竪切紙	1通	天城村片原忠三郎→塩田屋源吉	包紙あり(「九月切新札貳百匁 片原円吉」)
8-9-90	借用申銀札之事	寛政12年7月	竪切紙	1通	借主天城村円吉→しほたや易次郎	包紙あり(「証文書通 森与次右衛門」)
8-9-91	借用申銀札之事	延享5年7月12日	竪切紙	1通	森与次右衛門→塩田屋善次郎	包紙あり(「書物入 為次郎」)
8-9-92	借用申銭之事	天明6年7月	竪切紙	1通	北庭為次郎→塩田や善次郎	(奥書)名主広蔵 虫損大 包紙あり(「文化元年子十一月 五畝廿六分五厘 亀屋勘兵衛入」)
8-9-93	借用申新札之事	文化元年11月	竪紙	1通	売主亀屋利介・証人口屋口左衛門→塩田屋易次郎	(包紙表書)「手形書通入 為次郎」
8-9-94	借用申銭之事	天明6年2月	竪切紙	1通	借主天城村易次郎→塩田屋善次郎	8-9-95-1-1~15紙紐一括 紙紐をSILティッシュに取り換えて保存
8-9-95	[借用証文及び用地売渡証文15通一括]			1括り(15通)		(奥書)同村五人組頭小左衛門
8-9-95-1	借用申銭之事	宝暦5年12月	竪紙	1通	借主天城村藤四郎他2名→塩田屋源吉	(奥書)同村名主喜蔵
8-9-95-2	借用申銭之事	安永9年11月	竪紙	1通	借主作右衛門跡代判七郎右衛門・口入彦右衛門→塩田屋善次郎	(奥書)天城村名主喜蔵 (端裏書)「廻川屋藤四郎」 虫損大
8-9-95-3	借用申銭之事	安永4年12月	竪継紙	1通	天城廻川屋藤四郎・証人片原平吉→塩田屋善次郎	(奥書)同村名主喜蔵
8-9-95-4	借用申銭之事	明和6年12月	竪紙	1通	口入重右衛門・借主天城村惣九郎→塩田屋善次郎	(奥書)天城村名主喜蔵 (端裏書)「六右衛門」
8-9-95-5	借用申銭之事	明和6年12月	横継紙	1通	借主天城村六右衛門・口入同村忠四郎→塩田屋善次郎	(奥書)同村名主善次郎
8-9-95-6	借用申銭之事	寛保元年12月21日	竪紙	1通	天城村借主善三郎・同村口入次郎兵衛→塩田屋源吉	(奥書)同村名主喜蔵
8-9-95-7	借用申七五銭之事	安永5年12月	横継紙	1通	借主天城村八十八・口入同村口右衛門→塩田屋善治郎	(奥書)同村名主喜蔵 (端裏書)「遍照院」
8-9-95-8	年作売渡申田地之事	安永7年12月	竪継紙	1通	売主遍照院・口入伊右衛門→塩田屋善次郎	(奥書)同村名主金助
8-9-95-9	借用申銭之事	宝暦6年12月	竪継紙	1通	借主天城村孫七・口入同村曾兵衛→源吉	(奥書)同村五人組頭小左衛門
8-9-95-10	借用申銭之事	延享4年12月	竪紙	1通	借主天城村弥惣次他2名→塩田屋源吉	(奥書)同村五人組頭小左衛門
8-9-95-11	借用申七五銭之事	延享4年12月24日	竪継紙	1通	借主嘉兵衛・口入次郎兵衛→塩田屋善次郎	(奥書)同村五人組頭小左衛門
8-9-95-12	借用申銭之事	宝暦3年12月22日	竪紙	1通	借主天城村彦右衛門・口入同村庄次郎→塩田屋源吉	(奥書)小左衛門
8-9-95-13	相渡申田畑之事	寛政4年11月	竪継紙	1通	借主塩田屋三郎四郎・口入島屋弥吉→〇〇屋和十郎他2名	
8-9-95-14	借用申銭之事	宝暦12年12月	竪紙	1通	借主天城村佐藤吉岐・口入同村次郎大夫→塩田屋善次郎	(奥書)同村名主源介 (端裏書)「佐藤吉岐」
8-9-95-15	借用申銭之事	安永8年12月	竪継紙	1通	借主天城村重兵衛・口入証人卯十郎→塩田屋善次郎	(奥書)同村名主喜蔵 (端裏書)「とたや重兵衛」
8-9-96	[借用証文及び用地売渡証文18通一括]			1括り(18通)		8-9-96-1-1~18紙綴りで一括
8-9-96-1	借用申銭之事	天明6年閏10月	竪切紙	1通	染屋庄左衛門他2名→塩田屋善次郎	(端裏書)「こん屋庄左衛門」
8-9-96-2	借用申七五銭之事	寛政2年12月	竪継紙	1通	天城村判頭惣代与次右衛門・同佐吉→塩田屋善次郎	(奥書)名主三郎四郎他2名 (端裏書)「村」
8-9-96-3	借用申銭之事	宝暦12年12月	竪継紙	1通	借主新田ノ儀右衛門・口入新田ノ次郎作→塩田屋善次郎	(奥書)天城村名主源介 (端裏書)「新田儀右衛門」 虫損大
8-9-96-4	借用申銭之事	宝暦2年12月19日	竪紙	1通	借主天城村弥惣兵衛・同村加判弥右衛門→塩田屋源吉	(奥書)同村五人組頭小左衛門 (端裏書)「北庭弥惣兵衛」
8-9-96-5	[借用証文・借添手形]			1括り(2通)		8-9-96-5-1~2-纏め
8-9-96-5-1	借用申七五銭之事	安永7年12月	竪紙	1通	借り主天城村亦太郎・口入加判同村万五郎→同村塩田屋善次郎	(奥書)同村名主喜蔵 (端裏書)「片原又太郎」
8-9-96-5-2	借添手形之事	安永8年12月	横継紙	1通	片原又太郎→塩田屋善次郎	
8-9-96-6	借用申銭之事	延享3年12月20日	竪切紙	1通	借主新田嘉兵衛・口入次郎兵衛→塩田屋善次郎	(奥書)天城村名主善次郎 (端裏書)「新田孫七」 虫損甚大に付開披注意
8-9-96-7	借用申銭之事	宝暦2年12月22日	竪紙	1通	借り主新田ノ孫七・口入梅浦重右衛門→塩田屋源吉	(奥書)天城村名主金助 (端裏書)「片岡村源四郎」
8-9-96-8	借用申銭之事	宝暦6年12月	竪継紙	1通	借主片岡村源四郎・口入天城村清右衛門→天城村源	(奥書)同村名主喜蔵 (端裏書)「片原藤兵衛」
8-9-96-9	借用申七五銭之事	安永6年12月	竪紙	1通	借主天城村藤兵衛・口入同村善兵衛→塩田屋善治郎	(奥書)同村名主源介 (端裏書)「片原源次郎」 虫損
8-9-96-10	借用申銭之事	明和2年12月	竪紙	1通	天城村借主源次郎・同村口入口兵衛→塩田屋善次郎	(奥書)同村名主源介 (端裏書)「新田儀右衛門」
8-9-96-11	借用申銭之事	明和1年12月	竪切紙	1通	借主儀右衛門・口入新蔵→塩田屋善治郎	(奥書)同村名主源介 (端裏書)「片原甚右衛門」 書付1通あり
8-9-96-12	借用申銭之事	宝暦13年12月	竪紙	1通	天城村借主甚右衛門・口入六右衛門→塩田屋善治郎	(奥書)名主甚兵衛・五人組頭猪右衛門・同和十郎
8-9-96-13	借用申銭之事	天明7年12月	竪継紙	1通	判頭与次右衛門他4名→塩田屋善治郎	(端裏書)「〇〇当村御役人中手形」

8-9-96-14	借用申銭之事	天明8年12月	豎継紙	1通	判頭と次右衛門他5名→塩田屋善次郎	(奥書)五人与頭猪右衛門・同和十郎・名主甚兵衛 (端裏書)「村」
8-9-96-15	売渡シ申田地之事	寛政12年12月	豎紙	1通	売主源八・口入証人茂太夫→安治郎	(奥書)名主広蔵
8-9-96-16	借用申銭之事	安永6年12月	豎紙	1通	天城村借主万平・同村口入平吉→塩田屋善次郎	(奥書)同村名主喜蔵 (端裏書)「万平」
8-9-96-17	借用申銭之事	安永8年12月	豎継紙	1通	借主天城村佐介他2名→塩田屋善治郎	(奥書)天城村名主喜蔵 (端裏書)「佐介」
8-9-96-18	借用申七拾五文銭之事	明和6年5月20日	豎継紙	1通	借主岡山梅屋平兵衛他2名→善次郎	(奥書)天城村名主喜蔵 (端裏書)「岡山梅屋平兵衛」
8-9-97	〔借用証文及び福地講関連書類一括〕			1括り(1包1袋)		8-9-97-1~2紙綴りで一括り 紙綴りを外しSILティッシュの紐で結ぶ
8-9-97-1	〔借用証文9通一括〕			1包(9通)		8-9-97-1-1~9一包
8-9-97-1-1	借用申銀札之事	享和元年12月	豎継紙	1通	天城村名主広蔵他11名→天城村易次郎	(奥書)大庄屋天城村三郎四郎
8-9-97-1-2	借用申銀子之事	寛政11年12月	豎継紙	1通	天城村三郎四郎他9名→しほ田屋易次郎	(奥書)大庄屋天城村三郎四郎
8-9-97-1-3	借用申銀札之事	寛政11年12月	豎継紙	1通	天城村三郎四郎他10名→天城村易次郎	(奥書)四郎右衛門
8-9-97-1-4	借用申銀札之事	寛政9年12月	豎紙	1通	黒石名主茂右衛門他2名→天城塩田屋易次郎	(奥書)大庄屋天城村四郎右衛門
8-9-97-1-5	借用申銀札之事	寛政9年12月	豎紙	1通	藤戸村名主小太郎他2名→天城塩田屋易次郎	(奥書)大庄屋天城村四郎右衛門
8-9-97-1-6	借用申村入用銀札之事	寛政10年12月	豎継紙	1通	藤戸村名主小太郎他11名→天城塩田屋易次郎	(奥書)大庄屋天城村四郎右衛門
8-9-97-1-7	覚(郡中入用銀子返済の件)	寛政9年12月	豎紙	1通	林村九郎治→天城村安治郎	
8-9-97-1-8	借用申銀札之事	享和元年11月	豎継紙	1通	黒石名主茂左衛門他11名→天城村易次郎	(奥書)大庄屋天城村三郎四郎 包紙あり
8-9-97-1-9	借用口(申方)辻借之事	寛政10年1月	豎継紙	1通	粒江村名主如平他5名→天城村三郎四郎	(奥書)大庄屋天城村四郎右衛門 虫損大
8-9-97-2	〔福地講関連書類〕			1袋(1冊5通)		8-9-97-2-1~6一括り(袋上書)「福地講入」
8-9-97-2-1	福智講之記	文化11年1月5日	美・豎	1冊		
8-9-97-2-2	覚(福地講銀札受渡の件)	丑年12月22日	横継紙	1通		
8-9-97-2-3	預り置申銀札之事	文化14年12月20日	豎紙	1通	福田新田水内彦五郎→天城安次郎	
8-9-97-2-4	〔易次郎宛貞八郎書状〕	丑年12月22日	横継紙	1通	福地講銀札を使いの者へ渡す	
8-9-97-2-5	借用申新銀札之事	文化13年12月	豎紙	1通	福江村運平他3名→福智講御連中	(包紙上書)「丑極月 手形書通 水内彦五郎」
8-9-97-2-6	ふくち講取置高	子年12月	横継紙	1通	わたや武右衛門→しほたや	
8-9-98	売渡申田地之事	安永9年11月	豎継紙	1通	売主天城村又太郎・口入同村万五郎→塩田屋善次郎	(奥書)同村名主喜蔵 (端裏書)「片原又五郎」
8-9-99	売渡申畑之事	天明元年12月	豎継紙	1通	天城村売主八十八・口入証人弥右衛門→当村善次郎	(奥書)同村名主喜蔵 (端裏書)「八十八」
8-9-100	売渡シ申田地之事	年月日未詳	豎紙	1通	売主天城村庄次郎・口入同村伝八→同村名主喜蔵	(端裏書)「浦町庄次郎」
8-9-101	売渡申田地之事	天明4年12月	豎紙	1通	売主有木村善介・口入証人天城村庄八→天城村善治	(奥書)天城村名主喜蔵 (端裏書)「片原和三郎」
8-9-102	売渡申畑之事	寛政10年4月	豎紙	1通	売主八はま之浅之助・口入磯屋嘉左衛門→塩田や安 売主有木村嘉十郎・証人天城村弥右衛門→天城村塩田屋善次郎	(奥書)名主三郎四郎 (端裏書)「片原九郎左衛門」 (奥書)天城村名主喜蔵 (包紙上書)「証文書通 有木村嘉十郎」「覚(田地書上)」が挟まれている 継目は
8-9-103	売渡申田地之事	安永10年3月	豎継紙	1通		(奥書)天城村名主三郎四郎
8-9-104	一年切売渡シ申畑之事	寛政3年12月	豎紙	1通	売主天城村九郎右衛門・口入同村為次郎→塩田屋善	差出・宛所・金額などが記されておらず書きかけあるいは雛形の類と思われる
8-9-105	壹年切売渡申田地証文之事	年月日未詳	豎紙	1通		8-9-106-1~2一包(包紙上書)「戌とし手形書通 片方六右衛門」
8-9-106	〔手形・借用証文一括〕			1包(2通)		
8-9-106-1	借用申銭之事	明和3年3月	豎継紙	1通	借主天城村六右衛門・口入同村猪右衛門→塩田屋善	(奥書)同村名主源介 田地書上の書付が挟まれている
8-9-106-2	手形之事	正徳4年12月15日	豎切紙	1通	天城村田地主甚兵衛→片原村六右衛門 公儀より田地に付けられた溝について違乱を申す者が出てきたならば、この手形を指し出すように	
8-9-107	質入申田地之事	安永3年11月	豎継紙	1通	備前児島郡天城村善次郎他3名→備中窪屋郡倉敷村伊左衛門	継目はがれ
8-9-108	拾年符払込算用書之事	安永9年12月	豎継紙	1通	納主八十八他2名→塩田屋善次郎	(端裏書)「本町八十八」 継目はがれ
8-9-109	〔田地十ヶ年渡し証文下書2通〕			1纏め(2通)		8-9-109-1~2一纏め
8-9-109-1	十ヶ年作二入申畑之事(下書)	安永9年12月	豎継紙	1通	借主八十八他2名→塩田屋善次郎	
8-9-109-2	拾年符〇算用書之事(下書)	安永9年12月	豎紙	1通	借主八十八他2名→塩田屋善次郎	
8-9-110	十年ヶ間年作二入置候畑之事	安永9年12月	豎継紙	1通	借主八十八他2名→塩田屋善治郎	(奥書)同村名主喜蔵
8-9-111	〔人夫書上(断簡)〕	延享3年	豎継紙	1通	天城村名主善次郎・藤戸村名主源左衛門→(宛名なし)	
8-9-112	〔田畑免・斗代書上〕	年月日未詳	豎紙	1通		
8-9-113	覚(御屋敷御用諸入用引請借用の件)	年月日未詳	横継紙	1通	広岡村名主熊五郎・尾原村名主午七郎→天城村安次	(包紙上書)「手形入」
8-9-114	〔四ヶ浦八掛指出分石数書上〕	年月日未詳	横切紙	1通		
8-9-115	〔水谷七郎左衛門・武藤与惣左衛門宛稲葉佐左衛門書状〕	酉年11月20日	横継紙	1通	産米のうち六升を早川熊介へ渡すようにという依頼	(上書)「水谷七郎左衛門様 武藤与惣左衛門様 稲葉佐左衛門」
8-9-116	覚(町方入用に付借用のこと)	享和元年7月	豎切紙	1通	倉敷屋定蔵・染屋庄左衛門→塩田屋易次郎	(包紙上書)「十二月切 七五五拾匁 〇〇庄左衛門名印 悪口武右衛門〇 町庄左衛門 定蔵」
8-9-117	〔塩田屋善二郎宛堀弥一左衛門書状〕	年未詳7月12日	横切紙	1通	9月16日切に早米で払い入れるので左様心得るように	(包紙上書)「口上書 堀弥一左衛門」
8-9-118	覚(大豆代銀皆済のこと)	酉年7月	横継紙	1通	武吉→塩田屋	
8-9-119	口上(銀五拾目を七月に返弁のこと)	年未詳6月10日	横切紙	1通	〇〇〇〇〇〇→しほたや	
8-9-120	〔塩田屋善次郎宛さくら屋平兵衛書状〕	午年7月21日	横切紙	1通	中島靱負に銭を渡すべき事	
8-9-121	覚(柳田古米を積越したならば取り計らうべきこと)	酉年7月19日	横切紙	1通	武吉→塩田屋易次郎	

8-9-122	〔戌九月十四日酒・酢代銀書上〕	子年4月	横切紙	1通	塩屋→塩屋	
8-9-123	覚(田地書上)	年月日未詳	横切紙	1通		
8-9-124	〔善二郎宛佐五郎書状〕	年未詳12月26日	横継紙	1通	組合割銀相延について承知した	(上書)「天城村善二郎様 御返事 福江村佐五郎」
8-9-125	覚(銀引渡のこと)	未年1月29日	横切紙	1通	損用場→塩田屋	
8-9-126	〔塩田村善二郎宛片岡村源蔵書状〕	未年12月25日	横切紙	1通	七五銭三百目借用の件	
8-9-127	口上(松原四郎左衛門手紙預り置くべきこと)	年未詳9月4日	横切紙	1通	磯屋半次郎→塩田屋	
8-9-128	〔塩田屋善次郎宛むろ木八郎左衛門書状〕	年未詳12月29日	横継紙	1通	銀子請取の覚書	(上書)「塩田屋善次郎様 用事 むろ木八郎左衛門」
8-9-129	〔善次郎・甚兵衛宛平左衛門書状〕	年月日未詳	横継紙	1通	当方は無事家作棟上が終わり、親父は剃髪して全休と変名した 春に無心申し上げた頼母子講について、他の御連中は滞り無く出銀し渡されるものと存じている	(端裏書)「手紙 さくらや平左衛門」
8-9-130	覚(東高東〇知行分渡手形)	寅年2月	横切紙	1通	林村名主九郎治→三郎四郎	
8-9-131	〔西明院より塩田屋易治郎へ手形差出の件〕			1包(2通)		8-9-131-1~2一包(包紙上書)「九月切 貳百匁 西明院」
8-9-131-1	〔易治郎宛西明院書状〕	年未詳7月12日	横継紙	1通	よんどころ無い事をお頼みしたところ早速相談に乗って下さり有難い よって別紙の手紙を指し上げる	(上書)「易治郎様 西明院 内用乃節及不申」
8-9-131-2	覚(新札貳百目借用手形)	戌年7月11日	横切紙	1通	粒江西明院→しほ田や易治郎	
8-9-132	〔善次郎宛源四郎書状〕	年月未詳24日	横切紙	1通	当節はこれまでになく村方は差詰り殊のほか難儀しているの、手形通りに出して欲しい	
8-9-133	覚(七五銭三百目受取のこと)	子年12月27日	横切紙	1通	〇〇〇兵衛→磯や半次郎	
8-9-134	〔覚2通一纏め(正手札買入)〕			1纏め(2通)		8-9-134-1~2一纏め
8-9-134-1	覚(正手札貳百石買入)	未年12月21日	横継紙	1通	武介→安次郎	
8-9-134-2	覚(正手札百石買入)	未年12月21日	横切紙	1通	武介→三四郎	
8-9-135	〔銀錢借用証文及び渡し手形一纏め〕			1纏め(2通)		88-9-135-1~2一纏め
8-9-135-1	覚(銀三貫目渡し状)	年未詳1月21日	横継紙	1通	磯屋半次郎→塩田屋善次郎	継目はがれ
8-9-135-2	借用申候錢之事	天明5年12月	堅切紙	1通	八濱屋宗右衛門→磯屋半次郎	
8-9-136	覚(講銀出入済のこと)	辰年12月29日	横切紙	1通	〇〇村佐介→天城村善次郎	
8-9-137	〔イロハ歌〕	年月日未詳	横切紙	1通		
8-9-138	〔包紙〕	年月日未詳	堅切紙	1枚		(上書)「証文 磯屋」
8-9-139	〔袋(中身なし)〕	年月日未詳	堅紙	1枚		(上書)「享和三年亥三月 酒造一件取遣書翰入」
8-9-140	〔包紙断片〕	年月日未詳	堅切紙	1枚		
8-9-141	〔断簡〕	年月日未詳	堅切紙	1枚		
8-9-142	〔書画断片〕	年月日未詳		1枚		
8-10	〔借用証文等一括〕			1括り(41通1包)		8-10-1~42一括り 紙縫りを外して保存しSILティッシュの紐で括る
8-10-1	借用申錢之事	明和7年7月	堅切紙	1通	借主天城村儀平→塩田屋善次郎	(端裏書)「片原儀平」
8-10-2	借用申錢之事	明和3年12月20日	堅継紙	1通	借主天城村塩田文兵衛・口入同村八左衛門→塩田屋善次郎	(奥書)同村名主源介 (端裏書)「塩田文兵衛」
8-10-3	借用申錢之事	安永7年2月15日	堅紙	1通	大黒屋半次郎→塩田屋善次郎	
8-10-4	借用申錢之事	明和7年12月	堅紙	1通	借主小野八左衛門・口入天城村片原藤兵衛→塩田屋善次郎	(端裏書)「小野八左衛門」
8-10-5	借用申七五銭之事	安永元年12月	堅紙	1通	新田八十八→塩田屋善次郎	(奥書)横山弥兵衛(包紙上書)「証文巻通 新田八十八」
8-10-6	〔山田市之丞より塩田屋善次郎へ借用申入の件〕			1包(2通)		8-10-6-1~2一包(包紙上書)「証文一通 山田市之
8-10-6-1	〔塩田屋善次郎宛山田市之丞書状〕	年未詳7月12日	横切紙	1通	当盆前に難渋のため相談したところ取りかえるようにとの事で大いに寛いだのでお礼申し上げる	
8-10-6-2	借用申七五銭之事	安永9年7月	堅切紙	1通	山田市之丞→塩田屋善次郎	
8-10-7	〔善二郎宛〇〇書状〕	年月日未詳	堅紙	1通	この春まで廿匁借用の件につき	
8-10-8	覚(銀書上)	亥年1月28日	横切紙	1通	しほ屋→天城塩田屋	
8-10-9	覚(御蔵切手五升代)	辰年12月	横切紙	1通	しほみ源介→塩田屋善二郎	
8-10-10	借用申錢之事	天明4年閏1月	堅紙	1通	借主福本屋弥右衛門・同片原与次右衛門→塩田屋善	(包紙上書)「証文入 福本屋」
8-10-11	〔善二郎宛松二郎書状〕	年未詳2月14日	横継紙	1通	宮内堀家中務への銀子の儀について	(上書)「しをたや善二郎様 しろや松二郎」
8-10-12	借用申手形	安永5年12月	堅切紙	1通	借主忠右衛門・証人甚兵衛→塩田屋善治郎	(包紙上書)「証文 片原忠右衛門」
8-10-13	〔中島源吉宛魯一郎書状〕	年未詳閏11月29日	横継紙	1通	三月初めに銀三貫目が入用との事だったので使いへ手形を渡した	包紙あり
8-10-14	覚(かわら受取)	酉年8月9日	横継紙	1通	しほや→塩田屋	
8-10-15	〔石川伴右衛門・松坂清右衛門宛加賀〇九郎書状〕	年未詳2月	横切紙	1通	米壺升を塩田屋善次郎へ渡すようにとの依頼	
8-10-16	借用申錢之事	安永7年1月	横継紙	1通	借主平兵衛・口入干〇〇→塩田屋善次郎	
8-10-17	覚(七五銭三拾目借用)	午年7月7日	横継紙	1通	借主長右衛門→塩田屋善次郎	
8-10-18	覚(七五銭三百五拾目借用)	年未詳6月18日	横切紙	1通	金十郎・役太郎→塩田屋善次郎	
8-10-19	借用申錢之事	安永9年12月	堅紙	1通	天城村徳次郎・口入権左衛門→塩田屋善次郎	
8-10-20	〔塩田屋善次郎分卯年代官証文銀高差引覚〕	年月日未詳	横切紙	1通		



8-10-21	〔塩屋善二郎宛しほ屋源介書状〕	卯年8月19日	横継紙	1通	契木へ渡すべき銀四百五匁をこの者に渡すように	(上書)「塩屋善二郎様 しほ屋源介」
8-10-22	覚(縮緬他反物書上)	年未詳4月22日	横継紙	1通	亀屋眉蔵→塩田屋善次郎	
8-10-23	覚(子の歳不足分請取)	丑年2月25日	横切紙	1通	竹屋弥平次→天城塩田屋善次郎	
8-10-24	奉公人請状之事	明和8年11月30日	竖切紙	1通	奥迫川村惣左衛門・同村判頭与左衛門→天城村善次	
8-10-25	借用申銭之事	明和8年12月20日	竖切紙	1通	借主天城村源右衛門・口入同村佐吉→塩田屋善次郎	(包紙上書)「片原源右衛門」
8-10-26	借用申銭之事	安永8年2月	竖切紙	1通	借主天城村和三郎→塩田屋善治郎	
8-10-27	〔寸法坪数書上〕	年月日未詳	横折紙	1通		
8-10-28	借用申銭之事	安永8年12月	竖切紙	1通	片原和三郎→塩田屋善治郎	(包紙上書)「手形一通 片原和三郎」
8-10-29	借用申銭之事	天明6年11月	竖継紙	1通	借主天城村吉平・口入同村善兵衛→塩田屋善治郎	
8-10-30	売渡シ申家屋敷之事	安永7年12月	竖紙	1通	売主天城村町分久大夫・口入同村重兵衛→上ノ町久五	(奥書)同村名主喜蔵 (包紙上書)「手形 上ノ町久
8-10-31	〔善次郎宛喜十郎書状〕	年未詳12月20日	横継紙	1通	川子岩清右衛門御大講は今度切のところ善次郎の払込分で四百目が不足だった事の相談について	(上書)「塩田屋善次郎 戸田屋喜十郎」
8-10-32	借用申銭之事	明和6年12月24日	竖紙	1通	借主片原十左衛門→塩田屋善次郎	(端裏書)「片原重左衛門」
8-10-33	〔石川伴右衛門・松坂清右衛門宛松原四郎右衛門書状〕	年未詳2月15日	横切紙	1通	私支配米のうち一升を塩田屋善次郎へ渡すようにとの依頼 去暮取替の銀子を別紙算用書の通り請け取った件について	(上書)「石川伴右衛門様 松坂清右衛門様 松原四郎右衛門」
8-10-34	〔塩田屋善次郎宛しほ屋伊左衛門書状〕	年未詳1月28日	横継紙	1通		
8-10-35	借用申七五銭之事	明和4年12月5日	竖紙	1通	借主迫川屋藤四郎・口合大黒屋半治郎→塩田屋善治	(端裏書)「迫川屋藤四郎」
8-10-36	〔塩田屋善治郎宛中島藤屋書状〕	年未詳7月22日	横折紙	1通	七五銭を確かに受け取ったので証文を返すとの事	
8-10-37	借用申銭之事	安永6年12月	竖紙	1通	借主天城村善吉・口入同村善兵衛→しほ屋善治郎	
8-10-38	借用申銭之事	宝暦10年12月	竖継紙	1通	借り主天城村加兵衛・口入同村伝八→塩田屋善次郎	(奥書)同村名主源助 借用した銭を期限までに返済できず宝暦11年12月掛足の家屋敷を引き渡した (端裏書)「下ノ町嘉兵衛」
8-10-39	預り申銭之事	安永7年4月吉日	竖切紙	1通	預り主片原浅平・口入弁五郎→塩田や善治郎	
8-10-40	覚(米代銭受取)	酉年12月28日	竖切紙	1通	秋山助十郎→塩田屋善次郎	
8-10-41	借用申銭之事	明和7年11月	竖紙	1通	借主片原善四郎他2名→塩田屋善次郎	(端裏書)「片原善四郎」
8-10-42	借用申七五銭之口(事カ)	安永4年12月	竖継紙	1通	借主新田八十八・口入証人弥右衛門→塩田屋善次郎	(奥書)同村名主喜蔵 (端裏書)「東町八十八」 破損
8-11	〔柳田村汲五平振替銀一件書類〕			1括り(1冊4通 3括り1袋)		8-11-1~9一括り
8-11-1	〔振替銀関係書状等一括〕			1括り(22通4包)		8-11-1-1~26一括り
8-11-1-1	〔九一郎宛汲五平書状〕	年未詳2月23日	横継紙	1通		(上書)「九一郎様 [ ] 汲五平」
8-11-1-2	〔和歌〕	年月日未詳	横切紙	1通		
8-11-1-3	覚(金百拾両三歩引替)	年未詳3月7日	横切紙	1通	中島屋文四郎→塩田屋	
8-11-1-4	〔九一郎宛市郎次書状〕	年未詳3月3日	横継紙	1通	火急の談向があるとの事だがよんどころ無い事情が出来たので明朝迄待つて欲しい	(上書)「天城九一郎様 大急要用 柳田村市郎次」 8-11-1-5-1~2一包 (包紙上書)「中島九一郎様 密用貴報 篠井良平」
8-11-1-5	〔中島九一郎宛篠井良平書状〕			1包(2通)		
8-11-1-5-1	〔九一郎宛良平書状〕	年未詳3月17日	横継紙	1通	振替利銀一件について	
8-11-1-5-2	二白(和歌)	年月日未詳	横切紙	1通		
8-11-1-6	〔九一郎宛汲五平書状〕	戌年2月29日	横継紙	1通	兼々厄介になっている株振替の件	(上書)「九一郎様 汲五平」 (端裏書)「戌二月廿九日」
8-11-1-7	〔汲五平宛九一郎書状写〕	年未詳4月7日	横切紙	1通	振替銀利分払入の件	
8-11-1-8	〔九一郎宛汲五平書状〕	年未詳4月8日	横切紙	1通	利銀を当月中旬迄に指し遣わずよんどころ無い事について	(包紙上書)「天城九一郎様 ○○ 柳田汲五平」
8-11-1-9	〔九一郎宛良平書状〕	年未詳3月晦日	横継紙	1通	当月の利分について間違いが出来し入手し難いとの事	(端裏書)「戌三月晦日来翰 柳田良平 ○○○」
8-11-1-10	〔九一郎宛良平書状〕	年未詳4月9日	横切紙	1通	野見離縁一条と振替証書認替の件	(上書)「九一郎様 貴報 良平」
8-11-1-11	〔九一郎・良平往復書状一包〕			1包(2通)		8-11-1-11-1~2一包 (包紙上書)「天城九一郎様 御直覧可被下候 柳田良平」
8-11-1-11-1	〔九一郎宛良平書状〕	年未詳4月8日	横継紙	1通	振替利銀先月1ヶ月延引と野見離別の件	(端裏書)「四月八日」
8-11-1-11-2	四月九日良平への返書写	年未詳4月9日	横継紙	1通	天城九一郎→柳田村良平	
8-11-1-12	〔九一郎・良平往復書状一包〕			1包(2通)		8-11-1-12-1~2一包 (包紙上書)「四月十一日認発 天城九一郎様 急要用書 柳田良平」
8-11-1-12-1	〔九一郎宛良平書状〕	年未詳4月11日	横継紙	1通	先日の文通にあった懇意の人についてよんどころ無い事情により少々延引しているとの事	別紙追啓が挟まっている
8-11-1-12-2	四月十二日良平への返書写	年未詳4月12日	横継紙	1通	九一郎→良平	
8-11-1-13	〔中島九一郎宛篠井良平書状〕	年未詳4月24日	横継紙	1通	先達ての書面にあった当方懇意の者差出の件延引の利銀については懇意の者が帰宅して差し出す際には用意出来るだろう	(上書)「天城中島九一郎様 ○○ 柳田篠井良平拝」
8-11-1-14	〔九一郎宛良平書状〕	年未詳4月18日	横継紙	1通		(端裏書)「四月十八日来翰 柳田良平」
8-11-1-15	〔九一郎宛汲五平書状〕	年月未詳3日	横継紙	1通		(上書)「九一郎様 ○○ 汲五平」
8-11-1-16	〔中島九一郎宛東介書状〕	年未詳3月13日	横切紙	1通	「本家一条」について帰宅したところ少し様子が変わっていたとの事	
8-11-1-17	〔柳田村汲五平宛天城九一郎書状下書〕	戌年4月13日	横継紙	1通	振替銀利渡しの件	(端裏書)「戌四月十三日 汲五平へ遣ス」

8-11-1-18	[中島九一郎・篠井市郎次関係書状一包]			1包(2通)		8-11-1-18-1~2一包
8-11-1-18-1	[九一郎宛市郎次書状]	年未詳3月14日	横継紙	1通	振替利銀一件が延引となり家具類引当価不足の件	
8-11-1-18-2	[差出宛所不明書状]	年月日未詳	横継紙	1通	利銀延引の儀について家具類にても受け取れとは余りの事だ	
8-11-1-19	[大庄屋黒石善十郎宛丸川源右衛門他2名書状(写カ)]	年未詳2月28日	横継紙	1通	振替銀二株延拝借を天城村懸役人より願出の件	(奥書)善十郎→九一郎
8-11-1-20	覚(振替銀札拾五貫目拝借の件)	戌年2月	横切紙	1通	天城九一郎→(宛名なし)	
8-11-1-21	覚(柳田村汲五平拝借振替銀払上之節扣)	戌年3月5日	横継紙	1通		
8-11-1-22	覚(畑書上)	年月日未詳	横継紙	1通		(包紙上書)「天城中島九一郎様 要用 柳田村市郎次」
8-11-1-23	[九一郎宛市郎次書状]	年未詳4月6日	横継紙	1通	大島振替利銀二月晦日限に調達困難に付掛物の件	(包紙上書)「天城中島九一郎様 奉復要用 柳田篠井市郎次」
8-11-1-24	[九一郎宛良平書状]	年未詳2月29日	横継紙	1通	振替一件について重々役介になり申し訳ない	(上書)「二月廿九日来翰 九一郎様 良平」
8-11-1-25	[九一郎宛汲五平書状]	(酉年)9月1日	横継紙	1通	利銀札を昨日迄に間違い無く差し上げるべきところ不都合が生じてしまった	(上書)「九一郎様 汲五平 御振替用 酉九月朔日」
8-11-1-26	[九一郎宛汲五平書状]	(戌年)2月24日	横継紙	1通	波一件について今朝御沙汰申し上げるべき旨	(上書)「九一郎様 汲五平 戌二月廿四日」(包紙上書)「中島九一郎様 篠井汲五平」
8-11-2	[柳田汲五平銀札借用関連袋入]			1袋(7通)		8-11-2-1~7一袋
8-11-2-1	[中島宛大塚書状]	年未詳7月6日	横継紙	1通	先日内談した件について種々心配してもらったが取計も無かったので六貫目は11・12日頃迄に振替で欲しい	(上書)「中島様 大塚」
8-11-2-2	借用申銀之事	天保12年7月	縦切紙	1通	借主柳田村五七郎・証人八軒屋大吉→天城九一郎	(包紙上書)「六貫目分手形入 柳田 丑七月」
8-11-2-3	[九一郎宛弥太郎書状]	年未詳7月22日	横継紙	1通	十五両脇さし引替で渡すと五両不足だが勘弁して欲しい	(上書)「九一郎様 ○○ 弥太郎」(包紙上書)「天城村九一郎様 ○○ 上村弥太郎 下村」
8-11-2-4	[中島九一郎宛播磨屋安次郎書状]	年未詳7月24日	横継紙	1通	柳田汲五平脇差を大庄屋より無利で押付けられた代金の件	(包紙上書)「天城九一郎様 在復 吹上村安次郎」
8-11-2-5	請取申銀札之事(下書カ)	嘉永4年6月23日	横継紙	1通	天城村九一郎→上村弥太郎	(端裏書)「亥六月廿三日 上村弥太郎へ出ス 貳貫四百匁受取書写」
8-11-2-6	[九一郎宛弥太郎書状]	年未詳6月29日	横継紙	1通	銀札を28日に指し上げるべき処、銀札不廻り等の事情により延引した件	(上書)「天城九一郎様 上村弥太郎 銀札貳貫四百匁脇さし添」
8-11-2-7	借用申銀札之事	嘉永2年3月	縦継紙	1通	拝借主柳田村汲五平・加印同村良平→天城村九一郎	(奥書)同村五人組頭市郎次 (内包紙上書)「証文書通」(外包紙上書)「柳田村掛足預上人 篠井汲五平 拾五貫目」
8-11-3	[地利米銀札書上帳]	寅年1月29日	美・横長	1冊		
8-11-4	借用申七五銭之事	享和3年7月13日	縦切紙	1通	塩屋元蔵→大和や清八	(包紙上書)「手形 書通 元蔵殿」
8-11-5	覚(銀札貳百目借用)	申年8月	横継紙	1通	倉敷や金兵衛→塩田屋安治郎	(包紙上書)「書付入 倉敷や金兵衛」
8-11-6	借用申銭之事	寛政12年12月	縦紙	1通	借主天城村九郎左衛門・口入同村杖右衛門→塩田屋善次郎	(奥書)名主広蔵・同八軒屋後吉 (包紙上書)「申十二月入 証文 片原三平」
8-11-7	[柳田一条関連書状等]			1括り(9通2包1綴)		8-11-7-1~11一括り 紙綴りを外して保存しSILティッシュの紐で結ぶ
8-11-7-1	[九一郎宛安次郎書状2通一包]			1包(2通)		8-11-7-1-1~2一包 (包紙上書)「中島九一郎様 奉復内用 古谷安次郎」
8-11-7-1-1	[九一郎宛安次郎書状]	年未詳12月23日	横継紙	1通	柳田一条についての細書の趣、何分今日の事には出来ないの使いは帰した	
8-11-7-1-2	[九一郎宛安次郎書状]	年月未詳23日	横切紙	1通	夜前に弥太郎から先日書付により添削したものを別紙の透り差し越してきた	
8-11-7-2	[安次郎宛九一郎書状(下書)]	年未詳3月24日	横継紙	1通	度々人を差し出し御面倒なことをお察しします 濟口銀子渡方は何かと入り組み最早存じ寄らざる事である	
8-11-7-3	[九一郎宛安次郎書状]	年未詳2月27日	横切紙	1通	晦日には是非濟口を仕りたい	(封筒表書)「中島九一郎様 密用 古谷安次郎」(封筒裏書)「二月廿七日来翰」
8-11-7-4	[九一郎宛安次郎書状]	年未詳2月20日	横継紙	1通	一件断りも無く大延引し、実に気の毒である	(封筒表紙)「中島九一郎様 奉復 古谷安次郎」
8-11-7-5	[○○○○宛柳田村市郎次書状]	(戌年)8月24日	横継紙	1通	御屋敷様御振替銀一件につき尊瀧院へ汲五平から九一郎へ差入の件	(端裏書)「戌八月廿四日 柳田村市郎次 但尊瀧院差出之分」
8-11-7-6	書上(柳田村汲五平取次の振替銀札払上差滞の件)	戌年12月	横継紙	1通	天城村九一郎→(宛名なし)	(上書)「汲五平一条 元メ様へ之御届書」
8-11-7-7	[中九一郎宛安次郎書状]	年未詳2月1日	横継紙	1通	柳田一条について御断りもなく大に心痛しているが味野の武左衛門に頼んだ件	(封筒表書)「中島九一郎様 古谷安次郎 御用奉復別紙○」(封筒裏書)「二月朔日返翰 上村弥太郎書翰 入此分二月廿日戻ス」
8-11-7-8	[安次郎宛九一郎書状(写カ)]	(亥年)1月21日	横継紙	1通	柳田一条について年明迄猶予して欲しいとの返答の件	(端裏書)「亥正月廿一日 柳田一条○上候○○状」
8-11-7-9	[九一郎宛安次郎書状及び別紙一包]			1包(2通)		8-11-7-9-1~2一包 (包紙上書)「中島九一郎様 密用奉復 古谷安次郎 戌十二月廿五日返状柳田一件」
8-11-7-9-1	[九一郎宛安次郎書状]	年未詳12月25日	横継紙	1通	柳田一条について手間取り御断りも無い 昨日弥太郎に厳しく懸け合ったら別紙の透り返書をよこしたので御覧	
8-11-7-9-2	[安次郎宛弥太郎書状(写)]	年未詳12月24日	横切紙	1通	天城塩田への汲五平からの書付が一切無いとの件	(上書)「○○村安次郎様 上村弥太郎 うつし」



8-11-7-10	〔九一郎宛安次郎書状〕	(戌年)12月30日	横継紙	1通	柳田の分について弥太郎に厳しく詰問した件について	(包紙上書)「戌十二月晦日懸合一件返答 中島九一郎様 奉復密用 古谷安次郎」
8-11-7-11	〔九一郎宛安次郎書状〕	(戌年)12月14日	横継紙	1通	一条について元締衆中より返書があったが時日柄の事で出府して願立の件	(封筒表書)「中九一郎様 奉復御内 古谷安次郎」 (封筒裏書)「戌十二月十四日返翰」
8-11-7-12	〔振替一条関連書状5通綴〕			1綴(5通)		8-11-7-12-1~5一綴 個々の文書には付箋を入れず
8-11-7-12-1	〔九一郎宛汲五平書状〕	年未詳2月29日	横継紙	1通	当月利につき間違出来の件	(上書)「九一郎様 汲五平」
8-11-7-12-2	〔九一郎宛市郎次書状〕	年未詳3月1日	横継紙	1通	振替一条につき掛合の件	(上書)「三月朔日来翰 九一郎様 内用 市郎次」
8-11-7-12-3	〔汲五平宛良平書状〕	年未詳2月29日	横継紙	1通	良平より塩田屋へ請入証書を指入の儀	(上書)「汲五平様 急御答 良平」
8-11-7-12-4	〔九一郎宛汲五平書状〕	年未詳(2月カ)1日	横継紙	1通	庄屋より利分を請け入れた処、是非勘弁して欲しいという趣意について	(上書)「三月朔日来書 九一郎様 汲五平」
8-11-7-12-5	〔九一郎宛汲五平書状〕	年未詳2月1日	横継紙	1通	今日の書付は振替一件についてのものカ	(上書)「九一郎様 汲五平」
8-11-8	〔柳田村汲五平振替銀返済延引関係書状一括〕			1括り(3通3包)		8-11-8-1~6一括り 紙縫りを外して保存しSILティッシュの紐で結ぶ
8-11-8-1	〔尊瀧院宛九一郎書状下書〕	年未詳6月21日	横継紙	1通	柳田村汲五平懸合一条につき取計の件	(上書)「尊瀧院当テ 六月廿一日」
8-11-8-2	〔九一郎宛華一郎書状〕	年未詳8月29日	横継紙	1通	別紙願を夜分書入れるようにとの儀について	(端裏書)「八月廿九日来状 柳田村華一郎」
8-11-8-3	〔九一郎宛義兵衛書状別紙共〕			1包(2通)		8-11-8-3-1~2一包 (包紙上書)「天城村九一郎様 藤戸村義兵衛 御用向御用共」
8-11-8-3-1	〔九一郎宛義兵衛書状〕	年未詳8月29日	横継紙	1通	弥太郎より別紙のように書状が来た件	(上書)「九一郎様 義兵衛」
8-11-8-3-2	〔(義兵衛宛)上村弥太郎書状〕	年未詳8月28日	横継紙	1通	柳田汲五平返答書を早々指し出すべき所、不快につき延引の件	
8-11-8-4	〔九一郎宛義兵衛書状〕	年未詳8月5日	横継紙	1通		(上書)「九一郎様 義兵衛」
8-11-8-5	〔九一郎宛義兵衛書状別紙共〕			1包(2通)		8-11-8-5-1~2一包 (包紙上書)「天城村九一郎様 内用 藤戸村義兵衛」
8-11-8-5-1	〔九一郎宛義兵衛書状〕	年未詳8月18日	横切紙	1通	市郎次が別紙の通り申して来た件	
8-11-8-5-2	〔星島義兵衛宛柳田村市郎次書状〕	年未詳8月18日	横継紙	1通	良平・汲五平返済の件につき市郎次より掛合の件	(上書)「八月十八日 星島義兵衛様 柳田村市郎次」
8-11-8-6	〔九一郎宛義兵衛書状別紙共〕			1包(2通)		8-11-8-6-1~2一包 (包紙上書)「天城村九一郎様 御用向 藤戸村義兵衛」
8-11-8-6-1	〔九一郎宛義兵衛書状〕	年未詳8月25日	横継紙	1通	市郎次が別紙の通り手紙を差し越して来た件	(上書)「九一郎様 義平 極内用他見〇〇」
8-11-8-6-2	〔星島義兵衛宛柳田村市郎次書状〕	年未詳8月24日	横継紙	1通	九一郎から汲五平が借用した御屋敷様御振替銀の一件について	
8-11-9	安政七年申改嘉永三戌年書類数々	年月日未詳		1通	8-11全体の包紙カ	裏面は小屋地借用証文(絵図面入)
8-12	〔柳田村汲五平延引振替銀掛合一件〕			1括り(24通4包1纏め)		8-12-1~29一括り 紙縫りを外して保存しSILティッシュの紐で括り直す
8-12-1	〔寺川重郎左衛門他2名宛天城村九一郎書状控〕	年未詳11月29日	横切紙	1通	兼て柳田村汲五平へ取り次いでいた振替銀拝借掛足相対口の件を承知の事	(端裏書)「十一月廿七日御元々様へ差上ル書翰扣」
8-12-2	〔天城村九一郎宛難波要右衛門書状写〕	年未詳11月26日	横継紙	1通	柳田村汲五平へ振替取次銀について年々利銀を払い上げて来たが当年より払えなくなった件	(端裏書)「十一月廿六日 天城村九一郎当 難波要右衛門 返書写」
8-12-3	〔難波要右衛門宛天城村九一郎書状写〕	年未詳11月26日	横継紙	1通	柳田村汲五平が振替銀利銀を当年二月から払えなくなった事に対する願い出の件	(端裏書)「十一月廿六日 難波要右衛門殿へ振替則答状写」
8-12-4	〔善十郎宛丸川源右衛門他2名書状〕	年未詳11月4日	横切紙	1通	九一郎一条につき重郎左衛門へ申し出の件	(上書)「戌十一月四日 善十郎様 御元々御〇人別」
8-12-5	〔大庄屋田ノ口村難波要右衛門宛丸川源右衛門他2名書状写〕	年未詳11月2日	横切紙	1通	柳田村汲五平拝借の振替銀返済滞滞につき九一郎掛合の件	(端裏書)「戌十一月二日 元々様方田之口村へ之懸合御状写」
8-12-6	〔天城村九一郎宛丸川源右衛門他2名書状〕	年未詳11月23日	横継紙	1通	柳田村汲五平拝借の振替銀について返済遅延のため掛合の件	
8-12-7	〔九一郎宛安次郎書状〕	(戌年)12月22日	横継紙	1通	「一条」について一昨日出府し、元々様に詫を申し上げた件	(封筒表書)「戌十二月廿二日返却 中島九一郎様 奉復密用 古谷安次郎」
8-12-8	〔中九一郎宛安次郎書状〕	年未詳12月16日	横継紙	1通	「一条」についてようやく昨日弥太郎と文通に及んだ件	(封筒表書)「中島九一郎様 内用 古谷安次郎」
8-12-9	〔汲五平より九一郎への振替銀払上延引一件覚書〕			1纏め(2通)		8-12-9-1~2一纏め
8-12-9-1	覚(九一郎より汲五平へ取次の振替銀払上延引の件)	(戌年12月23日)	横継紙	1通	取噯人吹上村安次郎・上村弥太郎→天城村九一郎	(上書)「戌十二月廿三日 吹上安次郎遣ス 柳田村汲五平一件」
8-12-9-2	覚(汲五平の振替銀払上延引につき質物の件)	嘉永3年12月	横継紙	1通	九一郎→上村名主弥太郎・吹上村〇〇〇	
8-12-10	〔汲五平振替株無配につき九一郎宛元々役書状〕			1包(2通)		8-12-10-1~2一包 (包紙上書)「天城村九一郎様 急用 寺川重郎左衛門 高原善之丞 丸川源右衛門」
8-12-10-1	〔九一郎宛丸川源右衛門他2名書状〕	年未詳11月23日	横継紙	1通	柳田村汲五平へ振替の株無配につき掛合の件	
8-12-10-2	追啓	年未詳11月23日	横継紙	1通	8-12-10-1の追伸	
8-12-11	〔安次郎宛弥太郎書状〕	年未詳3月16日	横切紙	1通	先達て掛け合ったより払入銀子の件	(上書)「安二郎様 弥太郎」
8-12-12	〔九一郎宛安二郎書状〕	年未詳3月17日	横継紙	1通	柳田一件につき弥太郎から懸け合っているが、落着かないとの事	(端裏書)「吹上安次郎 亥三月十七日返翰」
8-12-13	〔九一郎宛安二郎書状〕	年未詳3月22日	横継紙	1通	柳田一条が一向に決着せず気の毒であるという件	(包紙上書)「亥三月廿三日返翰 中島九一郎様 奉復内用 古谷安二郎」

8-12-14	〔弥太郎宛九一郎書状写〕	年未詳3月24日	横継紙	1通	柳田村汲五平の振替銀払上が滞っている件について懸足の品を請け取るようにとの事	(上書)「上村弥太郎当テ書翰写 三月廿四日遣ス」
8-12-15	〔安次郎宛九一郎書状控〕	年未詳3月25日	横継紙	1通	柳田一条について最早取り計らいの手立ては無く、この一条が済むまでは口出ししないとの事だが、それは大変迷惑だ	(上書)「三月廿九日 安次郎へ遣書状扣」 (包紙上書)「天城村九一郎様 御用〇 黒石善十郎 柳田一条 四月五日返書」
8-12-16	〔九一郎宛善十郎書状〕	年未詳4月5日	横継紙	1通	柳田一条については委細承知したとの事	8-12-17-1~2一包 (包紙上書)「天城九一郎様 急要用答 吹上安二郎」
8-12-17	〔九一郎宛書状2通写〕			1包(2通)		
8-12-17-1	〔九一郎宛安次郎書状〕	年未詳3月27日	横切紙	1通	弥太郎手紙の趣について承知した旨	
8-12-17-2	〔天城九一郎宛上村弥太郎書状〕	年未詳3月25日	横継紙	1通	「一件」につき出訴するとの事について承知の件	
8-12-18	〔九一郎宛弥太郎書状〕	年未詳6月25日	横継紙	1通	先日新田で聞いた銀札の件について帰村のため不在だった事	(上書)「九一郎様 弥太郎」(包紙上書)「天城村九一郎様 上村弥太郎 御答御書口在中」
8-12-19	〔天城村九一郎宛丸川源右衛門他2名書状〕	年未詳3月25日	横継紙	1通	柳田村汲五平一条について承知したが、埒が明かないので取喰の両人を同道して出府するように	(包紙上書)「天城村九一郎殿 急用 寺川重郎左衛門 高原善之丞 丸川源右衛門」
8-12-20	〔丸市郎宛卯七郎書状〕	年未詳7月17日	横切紙	1通	汲五平脇指一件については父が帰宅するまで待つ欲しい旨	(包紙上書)「天城村九一郎様侍史 上村卯七郎」
8-12-21	〔安左衛門宛九一郎書状下書〕	年未詳6月22日	横継紙	1通	当年二月より利銀を払い出さないで願い出の一条について	書き出し部分が欠損
8-12-22	覚(柳田村汲五平へ取次の振替銀元利)	年月日未詳	横切紙	1通		
8-12-23	〔某宛丸川他2名書状〕	年未詳11月23日	横継紙	1通	柳田村汲五平へ振替の株無配につき掛合の件	8-12-10-1と同文
8-12-24	〔九一郎宛丸川源右衛門他2名書状写〕	年未詳3月5日	横継紙	1通	柳田村汲五平振替銀掛足引渡の件	(端裏書)「亥三月五日御元々様御状写」
8-12-25	〔御元々宛九一郎書状写〕	年未詳3月7日	横継紙	1通	上村弥太郎を同道し上村安次郎と共に懸合に及んだ件	(端裏書)「三月七日御元々様当〇 書状写」 (端裏書)「御振替銀一条亥三月六日 吹上安次郎之懸合書」
8-12-26	〔安次郎宛天城村九一郎書状(控カ)〕	年未詳3月6日	横継紙	1通	柳田村汲五平振替銀につき掛合の件	(封筒表書)「天城九一郎様 奉復無用 吹上村安次郎」(封筒裏書)「亥三月六日御振替銀一条返翰也」
8-12-27	〔中島九一郎宛安次郎書状〕	年未詳3月6日	横継紙	1通	柳田口銀一件についても断ることもできず立ち入ることになっていること	8-12-28-1~2一包 (包紙上書)「天城村九一郎殿 寺川重郎左衛門 高原善之丞 丸川源右衛門」
8-12-28	〔柳田村汲五平振替銀猶予の件に付元々役より来状〕			1包(2通)		
8-12-28-1	〔天城村九一郎宛丸川源右衛門他2名書状〕	年未詳3月5日	横継紙	1通	この間談合の趣について申談し別紙を差向けるので披見の上で上村弥太郎に当たり、同人と同道するように	
8-12-28-2	〔天城村九一郎宛丸川源右衛門他2名書状〕	年未詳3月5日	横継紙	1通	柳田村汲五平掛り分の振替銀について猶予してきたが今もって訳立が無い事について	
8-12-29	〔柳田村汲五平振替銀口未差出一件〕			1包(3通)		8-12-29-1~3一包 (包紙上書)「亥二月廿九日返翰 天城村九一郎様 奉復 吹上安次郎」
8-12-29-1	〔九一郎宛安次郎書状〕	年未詳2月29日	横切紙	1通	柳田口銀大延引につき福田新田御用所にて弥太郎と議論の件	
8-12-29-2	〔安次郎宛弥太郎書状〕	年未詳2月29日	横継紙	1通	天城払入について立入銀子が延引の件	
8-12-29-3	〔天城村九一郎宛丸川源右衛門他2名書状〕	年未詳2月23日	横継紙	1通	柳田村汲五平掛り振替銀につき去冬口書付申出の後も差し出しの無い件	(包紙上書)「天城村九一郎様 寺川重郎左衛門 高原善之丞 丸川源右衛門」
8-13	〔柳田良平証書利銀振替遅延一件書状一括〕			1括り(9通2纏め1包)		8-13-1~12一括り
8-13-1	〔中島九一郎・尊瀧院往復書状〕			1纏め(2通)		8-13-1-1~2一纏め
8-13-1-1	〔中島九一郎宛尊瀧院書状〕	年未詳5月6日	横切紙	1通	念書の趣を承知した よんどころ無い用向で出府するので帰り次第当方より申し上げる	
8-13-1-2	〔尊瀧院宛天城村九一郎書状下書〕	年未詳5月12日	横継紙	1通	先日は岡山へ出府されるとの手紙を下され承知した最早帰館されたとの事なので参上しましょうか	
8-13-2	〔中島九一郎宛尊瀧院書状断簡〕	年未詳5月18日	横切紙	1通	仲間一同慎中につき御苦勞をお懸けする	前半部分が大きく欠落していると思われる
8-13-3	〔中島九一郎・尊瀧院往復書状〕			1纏め(2通)		8-13-3-1~2一纏め
8-13-3-1	〔中島九一郎宛尊瀧院書状〕	年未詳5月2日	横切紙	1通	大島汲五平とよんどころ無い儀について委細咄の件	(上書)「五月二日 尊瀧院書状」
8-13-3-2	〔尊瀧院宛天城村九一郎書状下書〕	年未詳5月6日	横継紙	1通	柳田村汲五平懸合一条について	
8-13-4	〔中島九一郎宛尊瀧院書状〕	(嘉永3年カ)6月12日	横切紙	1通	出府からの帰路に大洪水で難渋の件 先達て内々に話した件を早速柳田良平へ伝えたが留主等で延引の件	(包紙表書)「中島九一郎様 尊瀧院 六月十二日返翰」
8-13-5	〔中島九一郎宛尊瀧院書状〕	年未詳6月	横切紙	1通	先日の話を野屋に指し含んで良平へ通達したが、柳田の返答が無いうちは何とも申し上げられないので用捨し	(包紙表書)「中島九一郎様 貴報 尊瀧院」
8-13-6	〔中島九一郎宛尊瀧院書状〕	年未詳6月21日	横継紙	1通	柳田両家懸引一件について手紙の趣は承知した	
8-13-7	〔中島九一郎宛尊瀧院書状〕	年未詳6月23日	横切紙	1通	先日来文通の一件について昨日柳田に出向き良平と示談に及んだところ、今日大島へ出向いて今明日中に返答するとの事	
8-13-8	〔中島九一郎宛尊瀧院書状〕	年未詳6月晦日	横切紙	1通	此の間話している一件について今日良平から聞いたこともあるので明日ちょっと来て欲しい	

8-13-9	〔中島九一郎宛尊瀧院書状〕	年未詳6月27日	横継紙	1通	一昨日良平と会ったが貴家へ申し上げ難いので今晚明朝迄に再び参りたい	
8-13-10	〔中島九一郎宛尊瀧院書状〕	年未詳6月30日	横継紙	1通	良平が来るので話し合いたく思っていたが大庄屋破損所見分のため明日より帳面調に取り掛る等寸暇も無い件について承知した	
8-13-11	〔中島九一郎宛尊瀧院書状〕	年未詳7月21日	横切紙	1通	兼て話し合いの一条の示談について、野屋取扱いでは埒が明かないとの考えで取り用いないのならば、先方にも断りを申し遣わしたい	
8-13-12	〔証書利銀振替等書状包〕			1包(1通1纏め)		8-13-12-1~2一包(包紙表書)「天城九一郎様 急要用 柳田良平 御直覧可被下候」(包紙上書)「四月廿八日来ル」
8-13-12-1	〔証書利銀振替関係書状〕			1纏め(2通)		8-13-12-1-1~2一纏め
8-13-12-1-1	〔九一郎宛良平書状〕	年未詳4月28日	横継紙	1通	利銀と証書の認め替えを手早く済ますべきところ、先書で断ったように不快なので今少し猶予して欲しい	(端裏書)「四月廿八日来翰 良平」
8-13-12-1-2	〔差出宛名未詳書状写〕	年未詳4月28日	横継紙	1通	振替銀証書認替について利銀等も病気のため猶予して欲しいとの事だが幾日という日限もなく不当だとの件	(端裏書)「四月廿八日 新屋敷へ返書写」8-13-12-1へ返書の写しと考えられる
8-13-12-2	覚(畑地書上)	年未詳10月24日	横継紙	1通	柳田村六郎次→九一郎	
8-14	〔慶応四年融通方借上金関連書類〕			1袋(仮1冊5通3括り)		8-14-1~9一袋(包紙上書)「慶応四年戊辰二月 御融通方御借上金書類一切 里長安兵衛扣」
8-14-1	辰春御借上金取立覚	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
8-14-2	〔安兵衛・弥太郎往復書状〕			1括り(2通)		8-14-2-1~2一括り
8-14-2-1	〔安兵衛宛弥太郎書状〕	年未詳10月12日	横継紙	1通	拝借の儀について出勤の節に談じたことについて	(包紙上書)「天城村安兵衛様 鎌田弥太郎」
8-14-2-2	〔鎌弥宛安平書状下書〕	年未詳10月14日	横継紙	1通	拝借の儀について万事持含にて利金丈け払い上げる様取り計らったことを承知した	(端裏書)「十月十二日返翰再書下共」
8-14-3	昨年之通御借上金二月三日之内払上	年月日未詳	横折紙	1通		
8-14-4	二月廿日取立残人別	年月日未詳	横折紙	1通		
8-14-5	〔御融通方御借上金払上書付類〕			1括り(1通1)		8-14-5-1~2一括り
8-14-5-1	口上(御借上銀払上願)	年未詳2月19日	横継紙	1通	利喜蔵→中島	(端裏書)「御用所受取書二月廿七日利喜蔵へ送」
8-14-5-2	〔辰年御融通方払上受取書4通〕			1包(4通)		8-14-5-2-1~4一包(包紙上書)「御融通方払上七百弍拾両辰二月廿二日受取書 同三百八拾五両同三月廿二日受取書 同百両同四月廿二日受取書 同百五拾両同七月五日受取書」
8-14-5-2-1	覚(御借上金払上受取)	辰年5月22日	横切紙	1通	御融通方御用所→天城村名主安兵衛	
8-14-5-2-2	覚(児島郡天城村御借上金払上請取)	辰年4月23日	横切紙	1通	御融通方御用所→同村名主安兵衛	
8-14-5-2-3	覚(御借受金払上請取)	辰年2月22日	横切紙	1通	御融通方御用所→天城村安兵衛	
8-14-5-2-4	覚(借上金払上受取)	辰年7月5日	横切紙	1通	御融通方御用所→天城村名主安兵衛	
8-14-6	〔安兵衛宛弥太郎書状〕	年未詳10月28日	横継紙	1通	三百両払上の残りは利払にて済ますようにとの評決に	(包紙上書)「天城村安兵衛様 御ふし 鎌田弥太郎」
8-14-7	〔安兵衛宛鎌田弥太郎書状〕	年未詳10月13日	横切紙	1通	貸付金の儀は詮議の通り当年は難しいとの事	(上書)「安兵衛様 御ふし 鎌田弥太郎」
8-14-8	〔書付(借上金残り渡しの件)〕	辰年4月23日	横切紙	1通	栄三郎→(宛名なし)	
8-14-9	〔借上金の儀につき安兵衛・弥太郎往復書状〕			1括り(3通)		8-14-9-1~3一括り
8-14-9-1	〔安兵衛宛鎌田弥太郎書状〕	年未詳5月27日	横継紙	1通	借上金の儀について談合に出席したいとの様子を承知先達で願ひ置いた一件は今年には案外難しいとの事について	(上書)「天城村安兵衛様 急用ふし 鎌田弥太郎」
8-14-9-2	〔鎌田宛安平書状下書〕	年未詳7月5日	横切紙	1通		
8-14-9-3	〔安兵衛宛鎌田弥太郎書状〕	年未詳7月5日	横継紙	1通	依頼の件について融通方内向の処では当年は難しいとの事	(上書)「天城村名主安兵衛様 急用 鎌田弥太郎」
8-15	〔明治二年融通方借上金関連書類〕			1袋(8通)		8-15-1~8一袋 8通をまとめて包紙で包んで袋に入れてある(袋上書)「明治二年巳四月 御融通方御借上書類入 邨長安兵衛」(包紙上書)「御請取書八通
8-15-1	覚(天城村御借上金払上請取)	巳年5月12日	横切紙	1通	御融通方御用所→同村名主安兵衛	
8-15-2	覚(御借上金之内払上受取)	巳年5月12日	横継紙	1通	御融通方御用所→天城村名主安兵衛	
8-15-3	覚(御借上金払上請取)	巳年4月23日	横継紙	1通	御融通方御用所→天城村名主安兵衛	
8-15-4	覚(天城村御借上金払上請取)	巳年5月14日	横切紙	1通	御融通方御用所→同村名主安兵衛	
8-15-5	覚(天城村御借上金払上受取)	巳年5月19日	横切紙	1通	御融通方御用所→同村名主安兵衛	
8-15-6	覚(天城村御借上金払上請取)	巳年5月24日	横切紙	1通	御融通方御用所→同村名主安兵衛	
8-15-7	覚(天城村御借上金払上請取)	巳年6月9日	横切紙	1通	御融通方御用所→同村名主安兵衛	
8-15-8	覚(児島郡天城村御借上金払上請取)	巳年6月27日	横切紙	1通	御融通方御用所→同村名主安兵衛	
8-16	〔塩田屋安兵衛金融書類袋入〕			1袋(10通1包3括り)		8-16-1~14一袋(袋上書)「取引書類入」
8-16-1	〔中島安兵衛宛片山○左衛門書状〕	年未詳6月24日	横継紙	1通	衰弱しているとのことなので心配している 妻から見舞いを出すのが病中のことなので構わないように	(封筒表書)「中島安兵衛様 尊下 片山○左衛門」

8-16-2	〔中島安兵衛宛鞭木八郎右衛門書状〕	年未詳6月27日	横継紙	1通	兼々取り次いできた浜西屋株の再借につき返金滞りの件	(包紙上書)「天城中島安兵衛様 尊下 要用書 粒江鞭木八郎右衛門」(包紙裏書)「不快中乱筆御推解可被遣候」
8-16-3	〔安兵衛宛恵三郎書状〕	年未詳7月4日	横継紙	1通	かねて役介になっている算用書と証書を入手したとの件	(包紙上書)「安兵衛様 尊下御報 恵三郎」「寅七月四日返翰金七郎証書追而返口との事也」
8-16-4	〔塩田屋宛郡屋兵作書状〕	年未詳7月19日	横継紙	1通	六月限返上金について十一月迄猶予願	(上書)「塩田屋様 御答 郡屋兵作」
8-16-5	〔鞭木八郎左衛門書状類2通〕			1包(2通)		8-16-5-1~2一包 (包紙上書)「天城中島安兵衛様 貴下 粒江鞭木八郎左衛門」
8-16-5-1	〔中島安兵衛宛鞭木八郎左衛門書状〕	年未詳6月25日	横継紙	1通	安兵衛内室不快につき様子伺いと見舞品贈呈の件	
8-16-5-2	口上(浜西屋取次金につき相談の件)	年未詳6月25日	横切紙	1通	八郎左衛門→安兵衛	
8-16-6	〔八郎左衛門宛安兵衛書状下書〕	年未詳7月4日	横継紙	1通	浜西屋取替金返済について約定通り貴所様より取り調べるべきとの考えについて	
8-16-7	〔中島安兵衛宛鞭木八郎左衛門書状〕	年未詳7月1日	横継紙	1通	病人の見舞と浜西屋取次金について断書のように最早手段が無いとの件	(包紙上書)「天城中島安兵衛様 尊下要用 粒江鞭木八郎左衛門」
8-16-8	〔安兵衛宛八郎左衛門書状〕	年未詳7月3日	横継紙	1通	安兵衛内君への病氣見舞と浜西屋佐兵衛借入金について差し支えに付き詫証文を差し上げたが取紛中で返事が無いので利金を差し上げさせた件	(包紙上書)「天城安兵衛様 要用貴答 粒江八郎左衛門」「口口(七月カ)三日来状」
8-16-9	〔安兵衛宛八郎左衛門書状〕	年未詳7月9日	横継紙	1通	浜西屋借入金について当季差し支えに付き度々詫書を差し出したところ延期してもらい安心したとの件	(包紙上書)「天城安兵衛様 貴下要用 粒江八郎左衛門」「七月九日来翰」
8-16-10	〔八郎左衛門宛安兵衛書状〕	年未詳7月10日	横継紙	1通	浜西屋利金指上につき算用・請取の依頼	虫損大 (包紙上書)「天城安兵衛様 当用金子在中 粒江八郎左衛門」
8-16-11	口上(下津井よりの返翰拝呈の件)	年未詳8月13日	横切紙	1通	清口郎→中島	(上書)「中島様 口上 清口郎拝」 虫損大
8-16-12	〔書状2通〕			1括り(2通)		虫損甚大のため開披不能 結紐欠損のためSILティッシュで包む
8-16-13	〔荻野久兵衛三百両取替金関係一括〕			1括り(4通)		8-16-13-1~4一括
8-16-13-1	〔天城安兵衛宛荻野久兵衛書状〕	年未詳8月14日	横継紙	1通	三百両取替金を今日請け取ったとの件	(包紙上書)「塩田屋安兵衛様 貴下奉復 荻野久兵衛」
8-16-13-2	〔書状〕	年月日未詳		1通		虫損甚大のため開披不能 SILティッシュで包む (包紙上書)「粒江口口郎様 御答 荻野久兵衛」
8-16-13-3	覚(元利入金不足共算用書)	寅年8月14日	横継紙	1通	荻野久兵衛→塩田屋安兵衛	
8-16-13-4	覚	年月日未詳		1通		虫損甚大のため開披不能 SILティッシュで包む
8-16-14	〔塩田屋安兵衛関係金融書類一括〕			1括り(8通2)		8-16-14-1~10一括
8-16-14-1	質地証文之事	慶応3年11月	横継紙	1通	質地主塩田屋安兵衛・証人塩田屋金七郎→大塚大吉	(上書)「卯十一月取引書類」(端裏書)「卯十一月渡大塚借用千金証文なり」
8-16-14-2	〔中島宛〇〇屋義右衛門書状〕	年未詳11月1日	横継紙	1通	先達で吹上へ談じ置いた金談について借り入れたいと	(上書)「中島様 御用御答 〇〇屋義右衛門」
8-16-14-3	〔安兵衛宛善右衛門書状〕	年未詳11月1日	横切紙	1通	暫く金子三百両は都合廻り先がある筈だが入用等はあるかどうかの件	(封筒上書)「天城安兵衛様 貴下要用書 黒石善右衛門」
8-16-14-4	〔安兵衛宛黒石善右衛門書状〕	年未詳12月4日	横継紙	1通	1ヶ年1割7分の利足で借り受けの件につき金主方の都合は如何との件	
8-16-14-5	〔中島宛片山書状〕	年未詳11月8日	横継紙	1通	金子五百両入用との事だが倉敷口は出来難いとの件	(封筒上書)「中島様 口用貴答 片山」
8-16-14-6	〔利金受取証文一件〕			1包(3通)		8-16-14-6-1~3一包 (包紙上書)「中島安兵衛様 御受 大西文吉」「卯十一月廿九日 返書利金受取証文」
8-16-14-6-1	〔中島宛文吉書状〕	年未詳11月29日	横切紙	1通	金子を別紙の通り受け取った旨	虫損大
8-16-14-6-2	覚(取次金三株利分受取)	卯年11月25日	横切紙	1通	大塚大吉留守居→天城安兵衛	虫損大
8-16-14-6-3	覚(質地入証文受取)	卯年11月25日	横切紙	1通	天城安兵衛→大塚大吉留守居	虫損大
8-16-14-7	〔安兵衛宛大吉書状〕	年未詳11月2日	横切紙	1通	過日話した今年借延の分について	包紙が二重になっている(外包紙上書)「天城村安兵衛様 御用向別紙在中 大塚大吉」(内包紙上書)「中島安兵衛様 要用 〇〇〇〇 大塚大吉」
8-16-14-8	〔塩田屋安兵衛宛浜西屋頼三郎書状〕	年未詳11月22日	横継紙	1通	兼て役介になっている金子延借と利分の件について	(上書)「塩田屋安兵衛様 貴答 浜西屋頼三郎」
8-16-14-9	〔中島安兵衛宛片口口左衛門書状〕	年未詳12月6日	横継紙	1通	金子差支え困窮につき廻金依頼	(包紙上書)「中島安兵衛様 [ ] 片口口左衛門」
8-16-14-10	〔中島宛片山書状〕	年未詳11月口日	横継紙	1通	金借の儀について	虫損甚大につきSILティッシュで包む(包紙上書)「中島様 要用書 片山」
8-17	〔貸金滞納・金談・藤戸寺入用等書類一括〕			1括り(6通3纏め)		8-17-1~9一括
8-17-1	〔天城村名主安兵衛宛倉敷村年寄敬之介書状〕	酉(文久元)年12月27日	横継紙	1通	倉敷村加茂屋と天城村竹田屋・紙屋との貸金滞り一件について取計依頼	(包紙上書)「天城村御名主安兵衛様 役用書 倉敷村年寄敬之介」
8-17-2	〔天城常太郎・同安兵衛宛大塚大吉書状〕	年未詳5月19日	横継紙	1通	書付により申し出の件について取り調べの件	
8-17-3	覚(申十二月取遣分の金三拾両内訳)	酉(文久元)年12月	横継紙	1通	加茂屋善兵衛→村御役人中	
8-17-4	〔紙屋貸付金滞りに付き加茂屋より願書〕			1纏め(2通)		8-17-4-1~2一纏め
8-17-4-1	借用申手形之事	万延元年11月	縦紙	1通	借用主天城村竹田屋喜之介→(宛名なし)	(奥書)引受人紙屋與八→黒石源五郎取次・倉敷加茂屋善兵衛

8-17-4-2	以書付御願申上候(紙屋へ貸付の金子返済滞りに付)	文久元年12月	豎継紙	1通	右善兵衛→天城村御役人中	包紙あり(白紙)
8-17-5	〔安兵衛宛善右衛門書状〕	年未詳7月14日	横継紙	1通	金談について先達で藤戸・八軒屋出会のはずのところ、喜左衛門他行につき延引の件	(包紙上書)「天城安兵衛様 役用書 黒石善右衛門」
8-17-6	〔差出宛名未詳書状下書〕	年未詳7月18日	横継紙	1通	金談懸一条について来る廿日より出勤する様にと両所から申し来た件について	
8-17-7	〔常太郎・安兵衛宛善右衛門書状〕	年未詳7月18日	横継紙	1通	金談取組一件について廿日より取り懸かるべき旨を藤戸・八軒屋より廻文があった件	(包紙上書)「天城村常太郎様 安兵衛様 急々役用御願 黒石善右衛門」
8-17-8	〔金員受取覚2通〕			1纏め(2通)		8-17-8-1~2一纏め
8-17-8-1	覚(年賦銀受取)	子年12月12日	横切紙	1通	黒石源太郎→天城村与八	
8-17-8-2	覚(金員受取)	子年12月12日	横継紙	1通	粒浦権四郎→天城村安兵衛	
8-17-9	〔諸入用関係書類〕			1纏め(仮1冊1通1纏め)		8-17-9-1~3一纏め
8-17-9-1	覚(諸入用請取書)	子年4月27日	横継紙	1通	野島屋柳三→藤戸寺	
8-17-9-2	〔藤戸寺入用書上〕	年月日未詳	横折紙	1纏め(2通)		
8-17-9-3	子七月廿七日別入用渡し人別請取覚 天城 黒石	子年7月27日	美・横長	仮1冊		
9. 土地						
9-1	未二月 清三郎請地由緒有之名主弥一郎手前江預ヶ置地尾原村伴蔵江売渡証書上帳	未2月	美・横長	1冊		「中島宛武一郎書状(二月十七日)」が挟んである
9-2	天保十一年子四月 葭野開出指留向後相止候段請印形公畝 地番改	天保11年4月	美・横長	1冊		
9-3	丑三月 児島郡天城村堤外葭生場流作見取畝書上帳	年月日未詳	半・横長	1冊		
9-4	嘉永七年寅二月 畑方麦成無シ之分相改書上帳 児島郡粒江村控	丑3月	美・横長	1冊		
9-5	嘉永七年寅二月 畑方麦成無シ之分相改書上帳 児島郡粒江村控	嘉永7年2月	美・横長	1冊		
9-6	天保十三寅十月吉日 別株地所仕出帳 中島氏	文政13年10月 吉日	半・横長	1冊		
9-7	天保八酉年二月 戎堂川筋土蔵拝借地仮帳 天城村名主九一郎	天保8年2月	美・豎	1冊		鼠損大のためSILティッシュで包む
9-8	〔田畑・家屋類売却証文等一括〕			1括り(10通1括り)		9-8-1~11紙綴りで一括り もとの紙紐を外して保存しSILティッシュで括る
9-8-1	借用銀札流証文之事	天保11年1月	豎継紙	1通	借用主新田兵五郎外2名→名主九一郎	(奥書)「名主三郎兵衛」(包紙上書)「天保十一年子正月 畑売渡証文書通 新田口太夫」
9-8-2	売渡申田畑之事	天保10年12月	豎継紙	1通	売主兵五郎外2名→名主九一郎	(奥書)「名主三郎兵衛」(包紙上書)「田地売渡シ証文 新田兵五郎書通 天保十亥年十一月」
9-8-3	売渡シ申田畑之事	天保6年12月	豎継紙	1通	売主天城村兵五郎外2名→名主九一郎	(奥書)「名主三郎兵衛」(包紙上書)「田畑売渡し証文書通 天保六未十二月 新田兵五郎」
9-8-4	天城村田畑同町分居屋敷代り相申証文之事	天保8年12月	豎継紙	1通	田畑主天城村御足輕右衛門外2名→天城村塩田屋九一郎	(奥書)「名主三郎兵衛」(包紙上書)「天保八酉年十二月 証文田畑居屋敷替り相なり 足輕右衛門」
9-8-5	売渡申田畑之事	天保2年12月	豎継紙	1通	売主邑久郡南幸田村大右衛門・加判同村五郎右衛門→児島郡天城村九一郎	(奥書①)「南幸田村名主富右衛門」(奥書②)「名主三郎兵衛」(包紙上書)「券状式通 南幸田村大右衛門」
9-8-6	売渡申畑之事	文政11年12月	豎継紙	1通	売主上町末次郎外2名→塩田屋九一郎	(奥書)「天城村名主三郎次」(包紙上書)「しゆあん地売渡証文 上ノ町末次郎一札」
9-8-7	売渡申蔵之事	文政12年12月	豎継紙	1通	売主天城村上町役蔵外2名→天城村塩田屋九一郎	(奥書)「天城村五人与頭嘉右衛門・同佐吉」(包紙上書)「役蔵家買取証文 五人与頭奥印取可申事」
9-8-8	売渡申家屋敷之事	文政12年12月	豎継紙	1通	売主天城村上町役蔵外2名→天城村塩田屋九一郎	(奥書)「天城村五人与頭嘉右衛門・同佐吉」
9-8-9	借用申銀札之事	文政12年4月	豎継紙	1通	借主上之町茂太夫外2名→塩田屋九一郎	
9-8-10	売渡申家屋敷之事	文政12年12月	豎継紙	1通	売主天城村上町末次郎外2名→天城村上町役蔵	
9-8-11	〔田畑及び家屋敷売却・掛足証文類一括〕			1括り(4通)		9-8-11-1~4紙綴りで一括り
9-8-11-1	売渡申屋敷地之事	文政10年5月	豎継紙	1通	売主天城村演介外3名→塩田屋九一郎	(奥書)「天城村名主三郎次」
9-8-11-2	借用申銀札之事	文政11年7月	豎継紙	1通	借主清次郎外2名→塩田屋九一郎	(奥書)「天城村名主三郎次」 小切紙が挟まっている「銀札式貫百目塩田屋九一郎へ懸足入 但九月十五日限 文政十一年子七月」
9-8-11-3	懸足証文之事	文政11年11月	豎継紙	1通	借主紙屋清次郎・加判々頭常蔵→塩田屋九一郎	(奥書)「天城村名主三郎次」
9-8-11-4	売渡申居屋敷之事	文政11年11月	豎継紙	1通	売主上之町紙屋清次郎外2名→塩田屋九一郎	(奥書)「名主三郎次」
10. 宗教・儀礼・文化						
10-1	文化九年申十一月 広田宮御本社勸化帳 後勸化分 天城町氏子中	文化9年11月	美・横長	1冊		
10-2	〔池田政昭葬送関連史料一括〕			1括り(1袋2括り)		10-2-1~3一括り 紙綴りが切れているのでSILティッシュで括る
10-2-1	〔池田政昭葬儀関連袋入史料〕			1袋(35通2括り1纏め)		10-2-1-1~38一袋 (袋上書)「丑八月 浄眼院様御葬式書類 天城」

10-2-1-1	〔藤戸粒江御同役中宛天城村安兵衛書状〕	(慶応元年)9月朔日	横切紙	1通	長様帰館に付き人足を差し出し御作事方で差図を受けるべき旨	(端裏書)「〇用岡山人足調之」
10-2-1-2	〔書付(伊織様賄数引合)〕	(慶応元年)	横切紙	1通		
10-2-1-3	覚(御上下日別度数)	(慶応元年)	横切紙	1通	栄三郎→宛名なし	
10-2-1-4	〔書付(数量書上)〕	(慶応元年)	横継紙	1通		虫損大 開披注意
10-2-1-5	〔藤戸外四ヶ村御役人中宛藤戸村啓三郎・天城村安兵衛書状〕	(慶応元年)9月2日	横切紙	1通	先日以来村々から借り上げの御屋敷様入用の品々について用済に付き取渡しの件	
10-2-1-6	〔安兵衛宛益治書状〕	(慶応元年)8月28日	横継紙	1通	天城様帰府の際、興除通りにて私宅が屋所となるという御屋敷様御元締様からの噂について	(包紙上書)「天城安兵衛様 貴下要用 内尾益治」
10-2-1-7	〔戸田屋義助外39名書上〕	(慶応元年)	横継紙	1通		
10-2-1-8	〔安兵衛宛大吉書状〕	(慶応元年)8月22日	横継紙	1通	今年は人足を指し出さなければ頼むに及ばないと考えている件について	(包紙上書)「粒江村安兵衛様 大塚大吉 御用急御答」
10-2-1-9	伺之覚(林山方立宿之事外五ヶ条)	(慶応元年)	横継紙	1通		
10-2-1-10	〔書付(逝去に付き村方心得簡条)〕	(慶応元年)	横継紙	1通		
10-2-1-11	〔天城村名主常太郎・安兵衛宛本郷五左衛門・徳山九左衛門書状〕	(慶応元年)8月14日	横継紙	1通	御前先刻逝去の報知	(上書)「天城村名主常太郎殿 安兵衛殿 本郷五左衛門 徳山九左衛門」
10-2-1-12	御賄代之覚	丑年8月	横継紙	1通		
10-2-1-13	覚(蒲団・蒲団敷・蚊帳等数量書上)	(慶応元年)	横継紙	1通		
10-2-1-14	〔常太郎・安兵衛宛本郷五左衛門・徳山九左衛門書状〕	(慶応元年)8月18日	横継紙	1通	葬式の節、先年のように村夫150人を出すべきところ近來軍事に出ているので免除する 棺持と台持は先例通りに出すべき事	(上書)「常太郎殿 安兵衛殿 本郷五左衛門 徳山九左衛門」
10-2-1-15	八月十四日夜方 出羽様御逝去御穩便	(慶応元年)	美・横長	1冊		
10-2-1-16	〔村々役人衆中宛土肥原五郎介・丸川源右衛門書状〕	(慶応元年)8月22日	横継紙	1通	御尊骸が24日暮六つ時に出発して天城表に来るので通行筋は先例通りに取り計らうように	(包紙上書)「大島損方天城村之役人衆中 丸川源右衛門 土肥原五郎介」 継目ハガレ 虫喰あり
10-2-1-17	覚(ふとん・行灯・煙草盆等数量書上)	(慶応元年)	横切紙	1通		
10-2-1-18	覚(上乘・御手走等期間・人数書上)	(慶応元年)	横切紙	1通		
10-2-1-19	〔仏事用意・入用関係括り〕			1括り(1纏め2通1括り)		10-2-1-19-1~4一括り
10-2-1-19-1	〔名主常太郎・同安兵衛宛本郷又左衛門・徳山九左衛門書状〕	(慶応元年)8月晦日	横継紙	1通	長様が来月二日六つ時にこちらを出立し仏参ののち帰館されるとの報知	(上書)「名主常太郎殿 同安兵衛殿 本郷五左衛門 徳山九左衛門」
10-2-1-19-2	覚(岡山人足派遣依頼)	(慶応元年)8月晦日	横切紙	1通		
10-2-1-19-3	〔従者人数書上纏め〕			1纏め(2通)		10-2-1-19-3-1~2一纏め
10-2-1-19-3-1	覚(御端小姓・御手廻外人数書上)	(慶応元年)8月	横継紙	1通		
10-2-1-19-3-2	〔御手廻・御陸尺外人数書上〕	(慶応元年)	横継紙	1通	大和や栄之介→宛名なし	
10-2-1-19-4	〔使者人足賃拾壹匁括り〕			1括り(1通2)		10-2-1-19-4-1~3一括り
10-2-1-19-4-1	〔書付(若狭様御使者人足賃拾壹匁)〕	(慶応元年)	横切紙	1通		
10-2-1-19-4-2	〔藩札(備前岡山銀札拾匁)〕	享保15年	16.0×3.9(cm)	1枚		
10-2-1-19-4-3	〔藩札(備前岡山銀札拾匁)〕	享保15年	16.7×5.0(cm)	1枚		
10-2-1-20	〔人数書上纏め〕			1纏め(2通)		10-2-1-20-1~2一纏め
10-2-1-20-1	〔人数・名前書上(不足分・過方共)〕	(慶応元年)	横折紙	1通		
10-2-1-20-2	〔書付(都合四百三十六人)〕	(慶応元年)	横切紙	1通		
10-2-1-21	口演(町宿谷屋に割付の御屋敷取向賄立に付き尋向)	(慶応元年)8月27日	横継紙	1通		(上書)「天城村名主安兵衛様 丸川源右衛門 土肥原五郎介」
10-2-1-22	〔天城村名主常太郎・同安兵衛宛本郷五左衛門・徳山九左衛門書状〕	(慶応元年)8月18日	横継紙	1通	24日に岡山を出棺し天城海禅寺に入るまでの行程及び26日に葬式をし28日より2夜3日の仕場を執行すべく旨 出羽様尊骸通行の道筋見分のため丸川源左衛門・土肥原五郎介出張に付、村境まで出勤すべき旨報知	(上書)「天城村名主常太郎殿 同安兵衛殿 本郷五左衛門 徳山九左衛門」 (包紙上書)「天城村名主安兵衛様 福島村名主金吉御用」
10-2-1-23	〔天城村名主安兵衛宛福島村名主金吉書状〕	(慶応元年)8月17日	横継紙	1通	御前の御容体が切迫した状態なので左様心得ておくようという報知	(包紙上書)「天城村名主常太郎殿 安兵衛殿 本郷五左衛門 徳山九左衛門」
10-2-1-24	〔天城村名主常太郎・安兵衛宛徳山九左衛門・本郷五左衛門書状〕	(慶応元年)8月12日	横継紙	1通		
10-2-1-25	〔前村々名主中宛大塚大吉書状〕	(慶応元年)8月18日	横継紙	1通	御屋敷様葬式の際に入用の蒲団を天城・粒江・黒石・八軒屋・粒浦・藤戸・菅原の各村に割り付けたもの	
10-2-1-26	覚(御家老以下上下居泊り・立帰り人数書上)	(慶応元年)	横継紙	1通		
10-2-1-27	手配(遠見・引籠・露払等人名書上)	(慶応元年)	横継紙	1通		
10-2-1-28	覚(人数日時別書上)	(慶応元年)	横切紙	1通		
10-2-1-29	〔粒江外三ヶ村御同役中宛天城元方書状〕	(慶応元年)8月26日	横継紙	1通	御屋敷入用のため借り上げた蒲団のうち遺済返却の件廻状	(包紙上書)「天城村安兵衛様 藤戸村啓三郎 組合急御廻状納」
10-2-1-30	〔御上払之分人数書上〕	(慶応元年)	横切紙	1通		
10-2-1-31	〔天城村安兵衛宛大塚大吉書状〕	(慶応元年)8月21日	横継紙	1通	御棺持・御台持共について然るべく取り計らって欲しい 私も24日朝から出るようにする	(包紙上書)「天城村安兵衛様 大塚大吉 御用〇〇」



10-2-1-32	[名主常太郎・安兵衛宛本郷五左衛門・徳山九左衛門書状]	(慶応元年)9月13日	横継紙	1通	健之介様が仏参のため18日に航路で来られるとの報知	(上書)「名主常太郎殿 安兵衛殿 本郷五左衛門 徳山九左衛門」
10-2-1-33	[中島宛啓三郎書状]	(慶応元年)9月5日	横継紙	1通	明6日朝より罷り出るようにとの件、承知したとの事	(包紙上書)「天城安兵衛様 藤戸村啓三郎 急役用」
10-2-1-34	[人数・度数等書上]	(慶応元年)	横折紙	1通		
10-2-1-35	御賄之覚	(慶応元年)	横継紙	1通	手方・使者・家老等、身分ごとに賄の内容を書き上げた	
10-2-1-36	[天城村名主常太郎・安兵衛宛本郷五左衛門・徳山九左衛門書状]	(慶応元年)8月22日	横継紙	1通	棺持引廻として安兵衛弟金七郎願出の件につき、その通り仰せ付けるとの事	(上書)「天城村名主常太郎殿 同安兵衛殿 本郷五左衛門 徳山九左衛門」
10-2-1-37	[覚・書付類一括]			1括り(2通2纏め)		10-2-1-37-1~4紙綴りで一括り
10-2-1-37-1	[覚3通(代銀書上)一括]			1纏め(3通)		10-2-1-37-1-1~3一纏め
10-2-1-37-1-1	覚(たつなわ入明儀・なわ代銀書上)	(慶応元年)9月2日	横継紙	1通	いなばや末吉→村入用	
10-2-1-37-1-2	覚(代銀五拾匁)	丑年9月	横継紙	1通	かみや与八→戎屋	
10-2-1-37-1-3	覚(筵十五枚代銀)	(慶応元年)9月1日	横継紙	1通	あわや利兵衛→当村入用御役場	
10-2-1-37-2	[名前書上]	(慶応元年)	横継紙	1通		
10-2-1-37-3	[書付3通一括]			1纏め(3通)		10-2-1-37-3-1~3一纏め
10-2-1-37-3-1	御寺入給事与	(慶応元年)	横切紙	1通		
10-2-1-37-3-2	〇〇〇之覚	(慶応元年)	横継紙	1通		
10-2-1-37-3-3	[29名書上]	(慶応元年)	横切紙	1通		
10-2-1-37-4	覚(岡山及び赤崎行人足人数書上)	(慶応元年)9月2日	横継紙	1通	海禅寺副司→名主安兵衛・同常太郎	
10-2-1-38	覚(茶漬・酒肴・蠟燭・半切書上)	丑年9月	横継紙	1通		(上書)「御村御入用 丑九月 戎屋林兵衛」
10-2-2	[葬儀諸入用書付類]			1括り(8通1括り)		10-2-2-1~9一括り SILティッシュで括る
10-2-2-1	[書付(御賄代書上外)]	(慶応元年)	横切紙	1通		
10-2-2-2	[書付(酒肴・遣夫等の事)]	(慶応元年)	横切紙	1通		
10-2-2-3	[名主常太郎宛本郷五左衛門・徳山丸左衛門書状]	(慶応元年)9月5日	横切紙	1通	御供立帰り一度支度の分を坂田屋安平・福岡屋三郎兵衛が差し上げたいとの件	
10-2-2-4	[書付(一、四拾八人)]	(慶応元年)	横切紙	1通		虫損甚大のためSILティッシュで包む
10-2-2-5	覚(一、百拾貳匁外)	(慶応元年)	横切紙	1通		
10-2-2-6	[日割支度・賄代書上帳]	(慶応元年)	美・横長	1冊		
10-2-2-7	[書付(海禅寺法要入用関係カ)]	(慶応元年)	横折紙	1通		
10-2-2-8	[白紙]	(慶応元年)	横切紙	1通		紙片を集めてSILティッシュで包む
10-2-2-9	[道具・支度等書上類]			1括り(1冊8通)		10-2-2-9-1~9一括り 紙綴りが切れているため保存しSILティッシュで括る
10-2-2-9-1	覚(御棺御手廻り・六尺へ食事支度書上)	丑年9月2日	横継紙	1通	戎や佐平衛→御用所	
10-2-2-9-2	[書付反故]	(慶応元年)	横切紙	1通		
10-2-2-9-3	[書付(四度代七匁三分三厘)]	(慶応元年)	横切紙	1通		
10-2-2-9-4	[書付(道具代書上)]	(慶応元年)	横継紙	1通		
10-2-2-9-5	借入物寄書	(慶応元年)	横継紙	1通	蒲団(大と敷)の枚数書上	
10-2-2-9-6	覚(断簡)	(慶応元年)	横切紙	1通	畳廿壹畳	
10-2-2-9-7	[函(紙片)]	(慶応元年)	横切紙	1通		
10-2-2-9-8	寄道具(煙草盆・行灯・茶盆・蒲団・畳)	(慶応元年)	横折紙	1通		
10-2-2-9-9	[諸道具・人数等書上帳]	(慶応元年)	美・横長	1冊		帳面の綴糸が欠失(11丁分)
10-2-3	[屋号名前等書付]	(慶応元年)		1括り		短冊状に切った多数の書付がくっついており1点毎の整理が困難なので一括してカードをとる 紙綴りが切れているのでSILティッシュで包む
11-1	11. 土木建築 慶応元年丑十一月 (朱書付箋)「中島扣」嘉永六丑年 児島郡呼松前御堰切内手三ヶ村前新川井路道形汐徐堤 御入用書上帳	慶応元年11月	美・横長	1冊		
12-1	12. 諸産業・職業 天保十五辰年九月 児島郡黒石組合酒造人御鑑札頂戴 書上帳 名主九一郎扣	天保15年9月	美・横長	1冊		
12-2	酒造年月司方諸入用	年月日未詳	美・横長	1冊		
13.	以下、分類なし			1冊		
13-1	文政六癸未年正月吉日 御用留帳 天城村名主九一郎	文政6年	半・縦	1冊		
13-2	文政七甲申年正月吉日 諸御用留帳 天城村名主九一郎	文政7年	半・縦	1冊		
13-3	文政八乙酉年□□吉日 御用留帳 天□村名主□一郎	文政8年	半・縦	1冊		虫損
13-4	安政□丙辰年正月 諸御用留帳 粒江村兼帯名主天城 村安兵衛	安政3年	半・縦	1冊		虫損
13-5	文久二壬戌年正月 諸御用留帳 粒江村兼帯名主安兵	文久2年	半・縦	1冊		

13-6	文久三癸亥年正月 諸御用留帳 粒江村兼帯名主安兵衛	文久3年	半・豎	1冊	
13-7	文久四年甲子正月 諸御用留帳 粒江村兼帯名主天城村安兵衛	文久4年	半・豎	1冊	
13-8	元治二年乙丑正月 諸御用留帳 粒江村兼帯名主天城村安兵衛	元治2年	半・豎	1冊	
13-9	慶応二年丙寅正月 諸御用留帳 粒江村兼帯名主天城村安兵衛	慶応2年	半・豎	1冊	
13-10	慶応三年丁卯正月 諸御用留帳 天城村長安兵衛 広江邑受持共	慶応3年	半・豎	1冊	
13-11	明治三年庚午四月 諸御用留帳 中島賢吉	明治3年	半・豎	1冊	
13-12	嘉永六年歳次癸丑 沙成載宝 奚疑館	嘉永6～慶応3年	半・横半	1冊	諸算用
13-13	元治二〇四月 張珠口	元治2年	半・横半	1冊	諸算用
13-14	嘉永四年辛亥初夏ヨリ 雑記 中島豊重	嘉永4～6年	半・横半	1冊	骨董代金など
13-15	明治三年庚午四月吉 諸御用日記 中島賢吉	明治3～12年	半・横半	1冊	
13-16	明治十二己卯年五月一日ヨリ至明治十八年乙酉九月三十日終 雑日誌 中島義熙	明治12～18年	半・横半	1冊	
13-17	文政十一年戊子正月吉祥 雑記	文政11～天保8年	半・横半	1冊	諸算用
13-18	〔諸算用帳〕 塩田屋	未詳	半・横半	1冊	
13-19	慶応三歳卯十二月吉日 金銀取口口 村用場	慶応3～明治5年	半・横半	1冊	
13-20	弘化四丁未村秋 東海録 中島氏	弘化4年	半・横半	1冊	諸算用
13-21	〔諸算用帳〕	未詳	半・横半	1冊	表紙欠
13-22	安政四丁巳年三月吉日 金銀受渡口	安政4年	美・横半	1冊	
13-23	安政七年申口口 口事録 造酒生安兵衛口	安政7年	半・横半	1冊	酒造方法など
13-24	寛政元年丁巳正月吉日 寛帳 志保多屋	寛政元年～万延元	半・横半	1冊	贈答など
13-25	壬申 雑記 中島	明治5～15年	半・横半	1冊	服薬録
13-26	〔諸算用帳〕	安政3年	半・横半	1冊	
13-27	享和三〇正月 〔諸算用帳〕	享和3年	半・横半	1冊	
13-28	〔諸算用帳〕 中島氏	未詳	美・横半	1冊	
13-29	從明治二十四年度 小作米庫内納検定 中島蔵方	明治24～27年	半・横半	1冊	
13-30	明治二十三年度分 小作米庭取勘定牒 中島	明治23年	半・横半	1冊	
13-31	嘉永七年十二月ヨリ 御年貢米受口口	嘉永7～明治6年	半・横半	1冊	
13-32	慶応二年寅十一月 御年貢米御勘定方雑記 天城村長安兵衛	慶応2～明治2年	半・横半	1冊	
13-33	安政六年未十一月 慶応元丑年迄 御年貢米御勘定方雑口 天城村長安兵衛	安政6～慶応元年	半・横半	1冊	
13-34	御年貢米請取通 広江村名主北畝繁太郎 天城村安兵衛	慶応元～明治9年	半・横半	1冊	
13-35	口久元酉年ヨリ 御年貢米算用通 天城村安兵衛	文久元～明治9年	半・横半	1冊	粒江村
13-36	慶応元口年 御年貢米請取通 天城村安兵衛	慶応元～明治7年	半・横半	1冊	福田古新田
13-37	御年貢米通 九一郎	天保5～嘉永6年	半・横半	1冊	
13-38	〔買物帳〕	文久3～明治8年	半・横半	1冊	
13-39	從慶応紀元丑年十二月 広江前小作人未進年々書出帳 天城村長安兵衛氏	慶応元～明治9年	半・横半	1冊	
13-40	醤油造様伝受	年未詳	半・横長	1冊	
13-41	卯十二月 土州御姫様御泊之節一切御入用物諸賃銀渡し請取通 天城元方	卯年	半・横半	1冊	
13-42	明治七年甲戌五月 田畑小作并屋敷貸地貸家共証券請取簿 天城中島源太郎	明治7年	半・横長	1冊	
13-43	明治五年壬申五月ヨリ同十四年辛巳二月二至テ終 小作当米麦受取帳 中島	明治5～14年	半・横長	1冊	
13-44	明治七年甲戌四月ヨリ 年中進物贈答記 奚疑館	明治7～14年	半・横長	1冊	
13-45	文久元年辛酉九月 役事録簿 安兵衛氏	文久元～明治6年	半・横長	1冊	
13-46	〔諸算用帳〕	明治5～14年	半・横長	1冊	
13-47	〔諸稼租税金払上書類綴〕	明治5～6年	半・横長	1冊	
13-48	〔御救助金関係書類〕	明治5年	半・豎	1冊	虫損
13-49	元禄拾六年未ノ二月廿一日 田方畝並改帳 天城村	元禄16年	半・豎	1冊	虫損、表紙の「元禄拾六年」を「慶長九年」に書替え
13-50	元禄拾六年未ノ二月廿一日 畑方畝並改帳 天城村	元禄16年	半・豎	1冊	虫損、表紙の「元禄拾六年」を「慶長九年」に書替え
13-51	承応三年 田方畝並改帳	承応3年	半・豎	1冊	虫損
13-52	田万治三開広田地下	万治3年	半・豎	1冊	虫損
13-53	寛文九年 田方畝並帳 外新田分	寛文9年	半・豎	1冊	虫損
13-54	寛文九年 畑方畝並改帳 開出しノ分	寛文9年	半・豎	1冊	虫損
13-55	田方 延宝七年	延宝7年	半・豎	1冊	虫損



13-56	畑方 延宝七年	延宝7年	半・豎	1冊		虫損
13-57	天和三年 畑方歛並改帳 新開之分	天和3年	半・豎	1冊		虫損
13-58	延宝七年己未二月十九日 天城町屋敷間数改帳	延宝7年	美・豎	1冊		虫損
13-59	貞享四年丁卯六月日 延宝七天城町屋鋪割本帳写 上	貞享4年	美・豎	1冊		虫損
13-60	貞享四年丁卯六月日 延宝七天城町屋鋪割本帳写 下	貞享4年	美・豎	1冊		虫損
13-61	[天城村町分間数改帳]	延享	美・豎	1冊		虫損
13-62	[天城町間数改帳]	未詳	美・豎	1冊		虫損
13-63	町分間数改帳	未詳	美・豎	1冊		虫損

以下、未目録